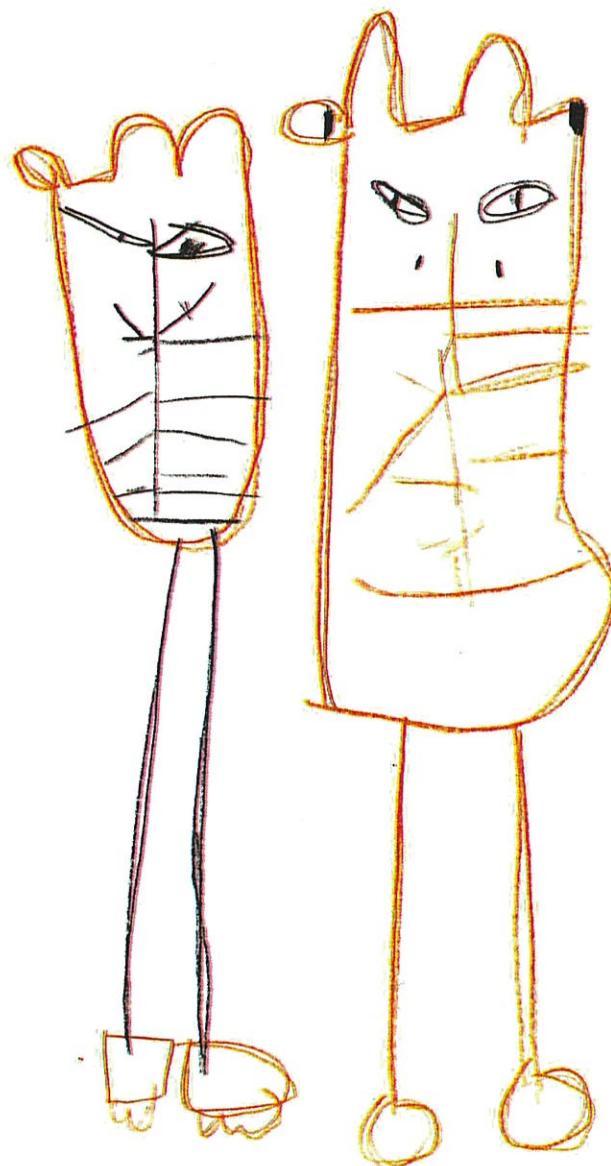


年次レポート

2022–2023



社会福祉法人 調布を耕す会

「コロナが残したもの」

最近、「普通がいかに大事か又、いかに大変か」と考えることが多くなりました。コロナウイルスの影響で、普通にしていた催物が3.4年中止になり、今年は順々に戻りつつあります。調布市の花火大会は9月24日に行われます。

コロナの影響で何が一番大事か、それはどうやれば良いかを考えるようになりました。「普通」は何もしないではやって来ません。努力して、頑張ってやって来るものです。ご飯を食べて、水を飲んで、息をして、泣いて、笑って、怒って、動く。「普通」を支えているものがいかに多いことか。

人間の体は絶えず変化している。昨日と今日は違うし、今日と明日は違う。人間の細胞はどんどん死んで、新しい細胞に入れ替わる。だから人間は変化し、生まれ変わらなければいけない。時代に迎合するのではなく、コロナを通して何が一番大事かを見極めて実行すれば良いと思います。

宇宙の歴史は40億年です。長い年月を経て、ここ「しごと場大好き」へ集うメンバー・親・職員・ボランティア…共に生活することが大奇跡だと思います。宇宙を2時間の映画にすると人類が登場するのはわずか2秒です。色々な催物に感謝して、普通に出来る幸せを感じて臨みたいと思います。

2023年8月
社会福祉法人 調布を耕す会
理事長 原 良男

社会福祉法人

調布を耕す会

2022年度

グラビア

カフェ	水上	安藤
後藤	片山	高木
高木	高橋	増渉

国領	澤上	森戸
	矢内	杉木
		竹原

1月 25日 遠足 晴 小星

5月 遠足

8月 縁日

10月 ミニ運動会

11月 東京ディズニーランド

12月 クリスマス会

福祉まつり

音楽

三谷

清野

川島

松村

堀

長谷川

吉田

本焼き

しごと場 布田

内田 小林大

カフェ大好き 松原 三谷

国領 亀田弘

グループホーム 河野

DAISUKI 小星

パンプキン

遠足

縁日

ミニ運動会



東京ディズニーランド



厳選ツーショット Top3



クリスマス会



福祉まつり



成人を祝う会





社会福祉法人 調布を耕す会 30周年記念パーティー



毎日、一生懸命に仕事に取り組んでいた
ただきありがとうございます。皆さん
が真剣に働く姿は、他の皆さんにも元気と
笑顔を広げていきます。これからも
「ゆたかに ゆかいに ゆうゆう
と」！「大好き」が大好きな場である
よう、仲間と楽しい日々を送っていき
ましょう。

令和五年二月二十五日

社会福祉法人 調布を耕す会

理事長 原 良男



令和五年二月二十五日

社会福祉法人 調布を耕す会

理事長 原 良男

ジャングルバザーファイナル

2023





カフェ大好き

今年度もたくさんのご来店ありがとうございました



国領



グレープホーム



DAISUKI



パンキン

2022～2023

■写真で見るこの1年

■2022年度事業報告

- I. 生活介護「しごと場大好き」・分場「しごと場大好き国領」の運営……1
- II. 就労継続支援B型「しごと場大好き」・出張所「カフェ大好き」の運営……5
- III. 共同生活援助グループホームDAISUKI・ユニット「パンプキン」の運営……8
- IV. その他の事業・活動……11
- V. 組織運営……11
- VI. その他プロジェクト……12

■2022年度決算報告

- ・資金収支決算書……14
- ・事業活動収支決算書……16
- ・貸借対照表……18

■2023年度事業計画

- I. 重点目標……19
- II. 生活介護「しごと場大好き」・分場「しごと場大好き 国領」の運営……19
- III. 就労継続支援B型「しごと場大好き」・出張所「カフェ大好き」の運営……23
- IV. 共同生活援助グループホームDAISUKIの運営……28
- V. 共同生活援助グループホームDAISUKIパンプキンの運営……30
- VI. その他の事業・活動……32
- VII. 組織運営……32

■2023年度予算

- ・予算内訳表……34

◆資料

1年間の活動日誌……36

役員名簿……39

社会福祉法人調布を耕す会 2022年度事業報告

I 生活介護「しごと場 大好き」・分場「しごと場 大好き 国領」の運営

【生活介護「しごと場大好き」】

1. 事業運営

終わりの見えない3年続けてのコロナ禍に加えて、退職、休職、物価高騰、最賃アップ等様々な要因が重なり財政的に厳しい年となった。人員的にも国領の職員が居なくなる中で配置転換を余儀なくされ、日責制の導入という大きな変化があった。課題は残るもの、現在は国領が2人体制で実践してくれている事もあり過去最大の人員配置となっている。職員間の連携も進み新たな日責体制も機能し始めている。取り組み始めたICT活用を進めながら 国領、グループホーム、カフェとこれまで以上に連携の意識を持って前に進みたい。また、個人情報の取り扱い、BCP策定については今年度課題解消に至らず次年度必ず解決すべき課題として残った。

2. メンバー待遇

今年も楽しく和やかな空気の流れる1年が過ごせたのではないだろうか。何より職員がメンバーに愛情をもって向き合い、連携しあいながら丁寧に支援している様子を感じる事が出来て嬉しい。それは、来所されるお客様の感想からも伺える。仕事、生活、コミュニケーションと様々な場面でメンバーの成長を感じる事も増えていて素晴らしい。職員の支援力が向上しているという記述も見られ頗もしく感じる。反面、熱心が故に手を出し過ぎてしまい、メンバーが自分で出来ることも支援に委ねてしまう様子が散見されるのは残念だ。また、指導的になっていたりぞんざいな言葉使いで誘導したり、逆に砕け過ぎたやりとりの場面が気になる時もあった。気を付けたい。誰に対しても人としての尊重が大前提にあった上で、自ら考え、選択し行動してもらえるような支援でありたい。全体には良い支援が出来ている印象だが、個別の支援を掘り下げる課題が多い。提供作業の不足、環境整備の不足、家族支援への限界、高齢化対応、支援の統一他、日常の言葉かけ一つにしても上手くいかないことが多い。リフレーミング（対象の枠組みを変えて、ポジティブに別の感じ方を持たせること。）等は学習の機会を持つて自然と出てくるように反復したい。現状に満足せず一つでも多くの笑顔を引き出せるように支援力の向上に努めたい。

(1) 生活支援

日常の活動やリハビリを通して、利用者の心身の健康保持と機能の向上に努めました。

(2) 創作活動援助

利用者の意思や個性・特性を尊重した創作活動を行いました。

(3) ケース会議＊就労継続支援B型と合同開催

基本的に週1回のペースで定期的に行われていましたが、推進役の援助主任が移動となり開催ペースが鈍くなり課題となっています。

3. 活動内容

(1) 日常生活上の支援を提供

ADL（日常生活動作）が未自立な利用者に対して、介護など日常生活上の支援を通して、身体能力、日常生活能力の維持・向上に努めました。ST、PT等専門職に関わっていただく中で日常の運動や補装具での改善が見られました。

(2) 創作活動の機会の提供

陶芸、組みひもなど従来の創作活動に加えて、引き続き美術講師を招き、芸術活動の時間を設けています。今年度は、調布美術研究所での展示会も実施されました。

(3) 簡易受託受注事業

封入封函、ポスティング等、単発の仕事もメンバーには向いている事も多く、引き続き積極的に取り組んでいます。

(4) その他の事業

①社会体験活動（公共交通機関利用の実践／買い物実践）

年間を通して、毎週月曜日に社会体験に通ずる様々な活動を行いました。

②地域に根ざした活動（地域向けバザー／道路清掃）

今年度もコロナ禍が続いてしまったために、年間を通して例年予定している行事がほとんど開催することが出来ませんでした。餅つき会、大好き市も3年続けて中止を余儀なくされ、地域との関係を築く「場」が持てませんでした。

③受託事業（メール交換、散水清掃業務（駐輪場清掃）、クリーンセンター清掃）

就労継続B型部門、国領と合わせ合同で取り組みました。メンバーはどの受託事業においても積極的に取り組み、それぞれに進歩が見られます。

④音楽療法（社会体験活動内）

今年度も、講師を招いて音楽療法を年5回行いました。コロナ禍の為、昨年に続いてクラフト製作と音楽の2グループに分かれ入れ替え制で実施しています。一度に集まるよりもむしろのびのびと活動出来るようです。

⑤在宅支援（災害、感染症等に際して）

コロナ感染拡大防止の観点から数日閉所日があり在宅支援を実施しました。各メンバー個別の課題提供と健康状況のチェックを行いました。

4. 防災計画

就労継続B型部門と国領合同で防災訓練を年2回実施しました。

9月 5日 地震発生想定の避難誘導訓練 2階からの車いす利用者避難、家庭との災害伝言ダイヤルでの連絡を行いました。コロナ禍の為消防立会いはありませんでした。参加60名

3月13日 地震発生想定の総合防災訓練、（消火訓練、DVD学習、避難訓練、送迎訓練）国領も含め全メンバーをご家庭まで送り届ける訓練を実施しました。 参加61名

5. 日 課

予定通りの日課を行いました。

6. 苦情相談

規定対応案件はありませんでした。

7. 第三者委員 *就労継続B型と合同開催

コロナが長引き、伊藤委員の「お話を聞きますよ」の実施は1度となった。次年度は三田委員にも加わってもらい回数を増やしたい。また、新たに「訪問調査」をお願いして指摘を受ける機会を作ります。

8. リスクマネジメント委員会

当委員会でBCPを完成させる目標で臨んでいた。担当者の退職や配置転換などもあり開催が中止とな

るケースもあり立て直しが急務になっています。

9. みんなを守ろう委員会

設置義務化がされる中で、今年度も隔月開催で身体拘束の規定づくり、アンケート、内部研修など精力的に開催されています。

10. 職員

育児休業、留学によって長期の休みとなる職員、退職者があり期間限定での非常勤職員2名と正職員1名を採用しています。コロナ禍が治まらぬ中で、新しい職員も多く事業所間の異動もあった事から、年初より各職員が責任者となって全体の動きを掌握する「日責」のスタイルへ移行しました。試行錯誤日々です。

11. 研修 *就労継続B型と合同実施

昨年から引き続いてコロナ禍の影響でほとんどの外部研修がZOOM研修に切り替わっています。東社協や人材センターの研修には良い内容の研修も多く、受講してもらいたいものもあり職免で受講をお願いする機会もあります。しかし、多くは長時間の拘束で配置に穴が開くため受講を断念する事になります。また、なかなか非常勤の方への研修受講の提供がままならない状況があります。それらの課題解消の為に次年度からは15分単位の講座を中心に展開しているサポートーズカレッジに加入する事としています。

12. 運営資金

メンバーの増減はありませんでしたが、昨年度末に退所されたメンバー介護給付減額分が残った形になってしまった他にコロナ感染拡大防止のかかりまし経費、公共料金の値上げ、修理やガソリン代高騰等の他、材料費の高騰等様々なマイナス要因に加え非常勤職員増員があり大変厳しい決算となりました。単独事業として赤字収支となっています。

【生活介護 分場「しごと場大好き 国領】】

1. 事業運営

11月に留学による休職、12月に担当者の退職と国領を担っていた2人が居なくなり新しい体制になりました。新たに配属された2人がよく連携しながら、それまでのアットホームな特徴を生かしつつメンバーに寄り添い、當時2人体制の中で質を維持しながらうまく運営しています。布田との連携も意識的に立ち寄る回数を多くしたり、メンバーが関係を持つ機会を提供したり、料理を提供してくれたり工夫が見られます。時には布田のフォローに回る事もありました。今後も3事業所がそれぞれアイデアを出し合いながら、これまでにない新しい交流の仕組みを考えていきます。

2. メンバー待遇

年度後半に新しい体制となり環境が大きく変わりました。体制変化によりメンバーにも落ち着かなさが散見されましたが、新しい事への挑戦は欠かさず取り入れました。実践の中でメンバーとの信頼関係が構築され、個々の得意な事が見えてきました。新しい環境を楽しんでいく中で、自然と新たな作業や自主製品を多く生み出すことが出来ました。それぞれに出来ることが増えて積極的に作業へ取り組む様子もみられるようになっています。職員の交代による環境の変化は一見ネガティブな要素にも感じますが、新たな風が入るというのは利用者にとってプラスになることも多かったのではないかと実感しています。しごと場大好き国領は本部から離れた場所にある小さな空間なので、ものの見方が偏ることの無い様に今後も色々な職員が関わっていくことを大切と考えています。

3. 活動内容

(1) 生活支援

日常の活動を通して利用者的心身の健康保持と生活機能の向上に努めました。

(2) 創作活動援助

利用者それぞれの特性や個性を活かした創作活動（紙すき・ミサンガ・シルクスクリーン・キーホールダーなど）を提供しました。

4. 活動内容

(1) 日常生活上の支援を提供

ADL（日常生活動作）が未自立な利用者に対して、支援を通して身体能力や日常生活能力の維持向上に努めました。

(2) 創作活動の機会の提供

牛乳パックや排紙リサイクルの手すきコースター、合皮を使ったキーholder、外国のコインを使ったミサンガなどのアクセサリー、シルクスクリーンでプリントした手ぬぐい、オリジナルの人形などを制作し「カフェ大好き」やキッチンカー、創造農園さんのカフェ「空と大地と」、「総合福祉センター」にて販売も行いました。5月からあらたに「ちょうどふだぞう」でも委託販売がスタートしました。

アクセサリー作家からの依頼によるフリンジ制作も引き続き行っています。

(3) 簡易受託受注事業

しごと場大好きと分け合いながらポスティング等の仕事に積極的に取り組んできました。

(4) その他の事業

①社会体験活動

以前行っていたコミュニケーションの発展形として日々の感想や予定を伝え合う時間を設けてコミュニケーション方法を学んでいます。コロナにより交通機関を利用した外出は1度だけ調布駅への買い物実習という形で実施出来ました。今後感染症の不安が無くなり次第イベントを企画していきたいと考えています。

②地域に根差した活動

事業所周辺の道路清掃を行っており通りがかる近所の方々とコミュニケーションをとる機会にもなっています。お花屋さんから無料でいただいた季節のお花を事業所の前に置き、無料お持ち帰り「どうぞのお花」の取り組みを始めました。リピーターの方からお菓子をいただいたら、取り置きを希望された方へメンバーが直接手渡したり地域交流の一助になっています。

③運動

PT指導による運動、花見など季節を感じながらのウォーキング、公園にて積極的に遊具を活用するなどで心身を整えられるような取り組みをしました。毎週金曜日には体重測定を行っています。

④調理実習・みそ汁作り

毎週木曜日に調理実習を行い、それ以外の曜日も毎日みそ汁作りをしています。メニューはメンバー会議で決めた内容で今年度は家庭でも作りやすいメニューを心掛け、家の手伝いに繋がるような活動を意識しました。

5. 防災計画

しごと場大好きと合同開催

6. 日課

人員不足により職員数が減り予定変更もありました。

7. 苦情相談

特別な相談はありませんでした。

8. 第三者委員

しごと場大好きの相談会に参加しています

9. リスクマネジメント委員会

しごと場大好きと合同

10. みんなを守ろう委員会（虐待防止）

しごと場大好きと合同

11. 職員

基本2名の職員配置。職員状況によりしごと場大好きとの連携で職員間の移動を実施。

12. 研修

しごと場大好きと合同

13. 運営資金

しごと場大好き分場として運営しています

II 就労継続支援B型「しごと場大好き」・出張所「カフェ大好き」の運営

【就労継続支援B型「しごと場大好き】】

1. 事業運営

生活介護部門同様に、今年もコロナの感染者が出て閉所、在宅支援を行う事がありました。調理部門の人員不足が続いていましたが、非常勤職員で新たな雇用があり安定した菓子製造となっています。その効果もあり就労支援収入がアップし、メンバー工賃が目標であった30,000円を上回る嬉しい結果となりました。また、念願の調布パルコ店内「無印良品」で調布産ジェラートの買取販売がスタートした事は大きなトピックでした。

2. メンバーの待遇

B型としては、メンバー、職員共に人の入れ替わりが無く1年を通して比較的大きく乱れることなく安定した待遇となりました。昨年はコロナの影響が大きく工賃の減額となっていましたが、クリンセンター、公園清掃等の受注箇所が増えた事や菓子製造の安定供給、喫茶の増収他自主製品も増収と各事業で増収となり就労支援収入が増加しました。その結果、平均工賃が31,000円台まで上がり、目標としていた30,000円に達する事が出来ました。この水準を維持し更に35,000円まで引き上げる事を目指して行きます。

(1) 生産活動援助

菓子製造、ジェラート部門での職員の欠員が課題でしたが、新たな非常勤の雇用により安定した

生産活動となりました。売り上げに関しては、コロナの影響が薄らいで社会的に購買意欲が高まっている印象で各生産活動で増収する事が出来ました。一方で、社会的な原材料の高騰は影響が大きく商品の一斉値上げを実施しました。値上げによる購買数の減少は見られていません。

(2) 生活指導

利用者の立場に立って、心身の健康保持と機能の向上に努めました。

(3) 職業訓練指導

日々の活動の中で、就労に必要な知識及び能力の向上に努めました。

3. 生産活動内容

(1) 受託事業

地域貢献に繋がる調布市関連の委託事業を通して、仕事に対する誇りと責任を培いました。特に施設外就労となっているクリーンセンター清掃については、週2回と実施日が増えましたがメンバーは引き続き大変意欲的に責任をもって取り組んでくれています。

(2) 自主製品事業

陶芸、組みひもについては、今年度はコロナで実施できていなかった「福祉まつり」、「市役所販売会」、「パルコ前販売会」などのイベントが復活し増収に繋がっています。都設置の福祉ショップ「KURUMIRU」では運営会社の積極的なアドバイスを受け商品の品質が高まってきています。

(3) 喫茶事業

駅前商店街での喫茶店（カフェ大好き）、福祉ショッピングの営業を通して地域の方々と触れ合いながらやりがいをもって働いています。コロナ禍が続き席数を半減させての営業が続いていますが、周辺店舗の閉店などもあり客足は昨年も上回る状況で、年間の売り上げは前年比113%となっています。

(4) 食品加工事業

カフェ大好きでの販売食品（カレー、スープなど）の製造、クッキー、シフォンケーキ、かぼちゃプリンなど焼菓子の製造、加工、販売。ジェラートの製造、加工、販売を行いました。昨年から発売の「ブルドネージュ」新商品のフィナンシェは売れ行き好調です。商品全般が知られ大口の注文などもコンスタントに入っています。年間で見ると昨年比113%増収で過去最高の売り上げを記録しています。ジェラートについては新たに「無印良品」での販売がスタートし期待の大きい所です。

(5) ケータリングカーでのジェラート・菓子販売

調布駅前のケータリング販売は、今年度も好調で昨年比で2倍の売り上げを記録し、ジェラート全体113%増収の大部分を担う活躍でした。今後はコロナ禍で中止となっていた各種のイベントが復活をしてくるのでコロナ前の売り上げに戻る事も近いと思われます。

4. 防災計画 *生活介護と合同実施

生活介護部門と国領合同で防災訓練を年2回実施しました。

9月 5日 地震発生想定の避難誘導訓練 2階からの車いす利用者避難、家庭との災害伝言ダイヤルでの連絡を行いました。コロナ禍の為消防立会いはありませんでした。参加60名

3月13日 地震発生想定の総合防災訓練、（消火訓練、DVD学習、避難訓練、送迎訓練）国領も含め全メンバーをご家庭まで送り届ける訓練を実施しました。 参加61名

5. 日 課

予定通りの日課を行いました。

6. 職員

数の増減はありませんでしたが、家庭の事情から不規則に休みとなる職員があり安定した配置とは行きませんでした。

7. 研修 *生活介護と合同実施

8. 運営資金

昨年度は開所以来初めての赤字決算となる中で立て直しを図りましたが、コロナ感染拡大防止のかかりまし経費、公共料金の値上げ、修理やガソリン代高騰等の車両経費、とマイナス要因が消えにくい情勢で、メンバーの増員もなく、単独事業では何とか黒字となっていますが、多機能型としては赤字が続いてしまう状況となっています。次年度はメンバーの加入もあり、立て直しが一定可能と思われますが、業務の見直しを軸に人件費の抑制に努めていきます。

9. 第三者委員 *生活介護と合同開催

10. リスクマネジメント委員会 *生活介護と合同開催

11. みんなを守ろう委員会 *生活介護と合同開催

【出張所「カフェ大好き」】

1. 事業運営

新型コロナウィルス感染対策をしながらの営業も3年目を迎えました。席数半減という営業のしにくさが継続しましたが、その状況の中でも前年を上回る来客と売り上げで、大入り袋も過去最高7回支給することができました。職員配置では年度途中に法人内全体での配置変更がありました。店長休職中店長代理をしていた職員が継続して常駐となり、安定した営業ができました。また、営業面においては兼ねてより課題だった原材料費高騰への対応として、2月に開店以来初となる全商品値上げを実施しました。お客様の反応が心配でしたが、みなさん好意的に受け止めて下さり、来客数にも影響がでていない様子で安心しているところです。次年度は、こちらも兼ねてよりの課題だった制服リニューアルと、周年祭の実施を予定しています。

(1) 事業活動

①喫茶事業（喫茶店の営業）

前年度に引き続き感染症予防対策を施しながらの営業でした。席数を減らしての営業は制限も多いですが、営業成績は前年度よりもさらによく、大入り袋を過去最高の7回も支給できました。

店長の長期不在からの、法人内全体の職員配置変更など体制が安定しない中での忙しい営業の日々でしたが、担当職員の尽力もあり、メンバー職員総体で乗り切った一年でした。

また、昨今の原材料費高騰への対応として、開店以来初の全商品値上げに取り組みました。お客様の反応が心配でしたが、概ね好意的に受け入れてくださり有難かったです。

②福祉ショップ事業

継続して市内福祉作業所の手作り品を展示販売しました。しごと場大好きのクラフトフェアは初開催でしたがとても評判がよく、ねこまつりもお客様から好評で、企画展に沿った商品の展示

販売の成果があった一年でした。継続していきます。

(3) 地域交流事業（展覧会/講演会等）

月ごとに展示が変わり、市民の方々の作品発表の場として有効活用していただけました。しごと場大好きの芸術品を展示した「アート展」や猫に特化した作品展「ねこ祭り」の開催は好評で、次年度も継続して企画していきます。

(2) 利用者の処遇

職員体制が短期間で変わる落ち着きのない状況でしたが、店長代理の尽力もあり、メンバーの皆さん安定して作業に取り組めた一年でした。特に過去最高数支給された大入り袋については、メンバーのモチベーションにもかなりプラスに作用し、毎月の売り上げ発表会が楽しみでした。次年度は商品値上げにともない、目標額も上がりましたので、達成できるか？皆で不安と期待でいます。

(3) メンバー会議

しごと場大好きの月曜日の取り組みに、共に参加しました。

(4) 広報・情報提供活動

①ホームページを活用して、カフェ大好きの展覧会の情報等を発信しました。

②フェイスブックとインスタグラムでの発信を継続して行いました。担当職員が日々の様子や外販の様子も細目にアップし、日に日にフォロワーが増えている印象です。

2. 運営・管理

(1) 運営

出張所として、適正な運営を行いました。

III 共同生活援助グループホームDAISUKI・ユニット「パンプキン」の運営

【共同生活援助グループホームDAISUKI】

1. 事業運営

事業開始12年目にあたる2022年度は、入居者5名生活支援員2名世話人4名でスタートしました。指定共同生活援助の提供にあたっては、利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、入浴・食事等の支援・相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行ってきました。また、利用者が住み慣れた地域で、豊かに愉快にゆうゆうと暮らし自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに人間性を尊重した事業運営に努めきました。今の場所に移転してから約10ヶ月を経ての今年度スタートでしたが、今年度が終わると、期限迄残り1年と2ヶ月となってしまう為、移転プロジェクトを立ち上げ相談をしながら、新たな移転先の確保に向けて話し合いを続けてきました。お声がけをしていた不動産会社から新たな候補地のお話を受け、そのお話しをお受けできるように、都の整備費補助の申請を行うという事で、その事前協議の資料を都に送付するという段階で年度末を迎えていきます。

2. 利用者の処遇

利用者が少しでも自立に向けた経験を積んでいければと、準備・片付け・掃除・洗濯・配膳・下膳等、日常生活に必要なスキルを自主的に取り組めるように働きかけてきました。食事・入浴の提供及び衛生管理・金銭管理も日常的に行いました。これにより洗濯機の使い方や洗濯物の干し方・お米の研ぎ方・下膳・小遣い帳記載等が良い習慣として身についているとの報告があり継続して続けています。引き続き、感染症対策の1年でした。日常の手洗いから検温（朝・晩）・手指の消毒・換気

の励行・感染リスクの高い食事の場面については2部制にして人数を分けて食べること、ついたての設置・終了後の消毒等を徹底して行ってきました。利用者ご家族からのご要望もあり、土曜日の開所を月1回から開始しています。（第三土曜日）

3. 事業内容

- (1) 利用者に対する相談として、随時面談を行いました。
- (2) 食事、入浴の提供は、日々行ってきました。平日の夕食は、クッキングハウスさんに委託して提供して頂きました。年に数回程度、販売されている惣菜・お弁当等も取り入れました。また、入浴の介助を随時行いました。
- (3) 健康管理として、口腔ケア（歯磨き・ブラッシング等）の援助を随時行いました。
- (4) 金銭管理の援助として、小遣いを預かり出納を管理しました。
- (5) 職場、家庭等関係者への連絡調整等生活に必要な援助として、主に担当者が連絡調整を行いました。
- (6) 一人暮らしを望んでいる元利用者に、随時相談として面談を行いました。また、関係各機関との連絡調整を行いました。

4. 防災計画

DAISUKI防災計画を作成しました。避難訓練は、未実施です。防災関連用品を購入し、水を備蓄しました。

5. 苦情解決

苦情対応規程に基き苦情受付担当および苦情解決責任者を置き、周知をしましたが、実際の苦情はありませんでした。

6. 利用者から受領する費用

経費は次のように定めて、

食費 平日（朝食300円、昼食300円、夕食600円）休日（昼300円、夕食600円）

家賃月額 6万円、光熱水費、日用品費、雑費など実費。

経費は毎月、食費は利用に応じて、請求（翌月第四土曜日まで）を行い、利用者保護者から振込をして頂きました。

7. 職員

今年度は、職員の入れ替わりもなく、安定した1年でした。

8. 資金計画

今年度は、運営費について、おおむね運営資金で賄い、適正な運営ができました。

【ユニット「パンプキン】

1. 事業運営

事業開始5年目にあたる今年は、入居者5名、生活支援員7名、世話人5名で、スタートしました。指定共同生活援助の提供にあたっては、利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、入浴・食事等の支援・相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行ってきました。また、利用者が住

み慣れた地域で、豊かに愉快にゆうゆうと暮らし自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに人間性を尊重した事業運営に努めてきました。人的な体制としては、退職者が今年も1名あり、新たに2名の方が入職しました。グループホームの支援を統一する必要があり、夜の職員打ち合わせに担当者が出席して、共有事項を伝達したり、月1回のグループホーム運営委員会で、課題解決に向けた取り組み、改善案などを検討の上実施をしました。

2. 利用者の処遇

利用者が、少しでも自立に向けた経験ができるようにと、食事の提供及び食事の介助、衣類の着脱の見守り及び介助、入浴の介助、トイレの介助等を行ってきました。感染症対策の1年でしたが、日常の手洗いから検温（朝・晩）・手指の消毒・換気の励行・感染リスクの高い食事の場面については2部制にして人数を分けて食べたり、ついたての設置・終了後の消毒等を徹底して行ってきました。

3. 事業内容

- (1) 利用者に対する相談として、随時面談を行いました。
- (2) 食事、入浴の提供は、日々行っていました。平日の夕食は、食事づくり担当職員が調理を行い、提供して頂きました。また、入浴介助担当職員が、入浴の介助を随時行いました。
- (3) 健康管理として、歯磨き・ブラッシング等の援助を随時行いました。
- (4) 職場、家庭等関係者への連絡調整等生活に必要な援助として、主に担当者が連絡調整を行いました。

4. 防災計画

パンプキン防災計画を作成しました。避難訓練は、年度内に一度開催し、第1次避難場所まで実際に避難してみる訓練を行いました。防災関連用品を購入し、水を備蓄しました。

5. 苦情解決

苦情対応規程に基き苦情受付担当および苦情解決責任者を置き、周知をしましたが、実際の苦情はありませんでした。

6. 利用者から受領する費用

経費は次のように定めて、

食費 平日（朝食300円、昼食300円、夕食600円）休日（昼300円、夕食600円）

家賃月額 61,200円 光熱水費、日用品費、事務用品費、雑費などは実費を受領。

食費は利用に応じて、請求（翌月10日まで）を行い、利用者保護者から振込をして頂きました。

7. 職員

夜勤担当職員1名の退職があり、昨年度から引き続き募集していた入浴担当1名の補充が長引きましたが、夜勤の担当1名と入浴担当1名を補充しました。

8. 資金計画

今年度は、運営費について、おおむね運営資金で賄い、適正な運営ができました。

9. 短期入所「パンプキン」

今年度も、試験的運用となっていましたが、利用がありませんでした。次年度本格稼働となるように準備

備を進めます。

IV その他の事業・活動

1. 障碍者の社会参加を支援する活動

(1) 交流活動（年間を通して随時）

① 餅つき会

新型コロナ感染症対策を踏まえ、中止となりました。

2. 広報・情報提供活動

(1) 会報の発行等

法人の事業・活動を広く知らせるとともに関連情報を提供する為、調布市内外の関係機関・団体、協力者、助成団体、マスコミ、特別支援学校 PTA などに配布しました。

偶数月年6回、毎号650部発行

発行月	発行No.	主な内容
4月	181	「年間皆勤賞」「HPリニューアル」「春の大好きクラフトフェア」「イイね！こんな居場所#2」
6月	182	「又村あおいさん講演会」「M I E N展示会」「イイね！こんな居場所#3」「2年ぶりの遠足」
8月	183	「縁日開きました」「パラアート大旗製作中」「イイね！こんな居場所#4」「こぶしの会ブルーベリー狩り」
10月	184	「パラアート展・組み紐展」「素敵な出会いがありました」「イイね！こんな居場所#5」「カフェ大好き お客様からのプレゼント」
12月	185	「理事長年末挨拶」「30周年記念Tシャツ」「ディズニー旅行」「イイね！こんな居場所#6」「福祉まつり」
2月	186	「ジャングルバザー開催」「成人を祝う会」「無印良品ジェラート販売開始」「イイね！こんな居場所#7」

(2) 情報提供活動

年次レポートを予定通り発行することができました。長年の課題である法人のパンフレットはいまだ未作成のため、早い時期の取り組みが必要です。

3. 市民参加型事業・活動の開発と企画・実施

(1) 「それはおしゃれなコンサート（第27回）」

27回目のチャリティーコンサートは、新型コロナ感染症対策を踏まえ中止（延期）となりました。

次年度、今年度予定していたゲストをお招きして開催する予定です。

4. 協力・連携事業

(1) 文化的活動の実施

実施できませんでした。

(2) 他団体等への支援・協力活動の実施

実施できませんでした。

V 組織運営

1. 組織運営

(1) 理事会、評議員会の開催

「しごと場大好き」「カフェ大好き」「しごと場大好き国領」「グループホーム DAISUKI」「ユニットパンプキン」を運営する体制を整えるとともに、各種事業、活動を円滑に進めるため、組織運営の確立を図るよう努めました。

理事会の開催 5回 評議員会の開催 3回（うち1回は決議の省略）
(2) 事務局の確立による事務処理の円滑化

事務局会議を 定例で月 1回開催し、運営上の課題について検討を重ねました。年間を通して税理士さんに会計を見てもらい、各事業、月々の締めに決算もあわせて、確認していただいている。
理事長に月次報告として、事務局会議で確認していただいている。

(3) 市民の参画を得るための委員会の確立

幅広い市民の参加によるプロジェクト（委員会）を設置し、法人の事業、活動を市民の参画・協働によって実施していくことを目指して活動しました。

「コンサートプロジェクト」では『それはおしゃれなコンサート』の企画を行いました。今年度も延期となり、次年度の準備も進めてきました。

【コンサートプロジェクト】朝日敏幸 大菊健太 川崎春枝 原郁子 舟山佐智 後藤朋子

(4) 理事・監事、評議員の研修実施

引き続き、研修の機会を設けることに積極的に取り組みました。

2. 財源の開拓・確保

長期的な展望をもった事業・活動を運営していくために、自主財源の充実に努めました。

(1) バザー等の計画的実施

20年以上継続してきた主催バザーでしたが、時代の変化と法人内の状況の変化に伴い主催バザーを終了することにしました。昨年度ラストバザーを実施する予定でしたが、コロナ禍で実施できず、3月の実施となりました。

バザー品も2週間だけ募集期間を設けましたが、持ち込んでくださる方も多く、地域に定着していましたことを感じました。当日は3月と思えないような暑さも伴う快晴の空のもと、これまでバザーにご協力くださいましたボランティアさん、ステージ出演者のみなさん、関係団体のみなさんが一同に会し、とても和やかな雰囲気の中「耕す会らしく」楽しい一日とすことができました。

【バザープロジェクト】川崎春枝 小星牧古 清野敦美 舟山佐智 野口千鶴子 吉田真弓 後藤朋子

【バザー売上げ】465,995円

VII その他プロジェクト

1. 将来構想プロジェクト（第5期将来構想プロジェクト）

第5期将来構想プロジェクト〈2022～2024年度第5期中期計画〉について

目的：グランドデザインを踏まえて、2025年度までの法人長期計画を実現するための3か年の実施計画である。

方針：今回の5期計画は、法人長期計画（10年計画）の後期にあたり、調布を耕す会30周年事業の実施期間にあたる。同時に25年の最終年へ向け課題が積み残されないように目標化して取り組んできたものの結果が求められる。

重点課題：◇30周年事業実施◇グループDAISUKIの移転完了◇新規事業所の開設

今年度は第5期のプロジェクトスタート年でした。第4期からの切り替え年となりプロジェクトメンバーの一部が交代となっています。その中で今年度の進行管理は以下に記載の2022年度課題について各担当者が進捗状況を発表する形で行われてきました。法人本部★DAISUKI移転★法人機能強化★ICT活用★耕す会30周年★人材育成★きょうだいの会しごと場大好き★平均工賃3万円達成★しごと場大好き国領の契約満了★個別支援計画の再編★事業継続計画(BCP)★グループホームDAISUKI★ショートステイの本格運用開始★GH運営委員会の開始★年齢枠の創設カフェ大好き★年間売上

700万達成★接客マナービデオ制作★コーヒー豆の安定仕入れ。

課題解決したものとして、デジタル補助金決定、30周年事業完了（旅行延期）、 WiFi ファイアーウォール設置、支援記録ソフト導入、B型平均工賃3万円達成、きょうだいの会の開催が上げられます。又、年度をまたぎましたが、ファミリーや関係者の皆様に呼びかけをして、2023年4月15日（土）にたづくり12階大会議室を会場にして2022年度の将来構想拡大プロジェクトを開催しました。当日は、50名の参加者が集まり、「グループホーム開設に際しての法人負担について」と「新しい事業所構想について」というテーマで、6つの班に分かれて、グループディスカッションを行い交流を深めました。

●第5期将来構想プロジェクト【原良男 大村洋 舟山佐智 普後むつ子 菊池美奈子 亀田良一郎 後藤朋子 矢内真澄 山口寛孝 松原中代 内田喜則 以上11名】

2. グループホーム移転プロジェクト

2022年は、3年契約の2年目にあたり、早めに動いて次の移転候補を探すため、早々にプロジェクトを開いて準備を進めてきました。お声がけをしてあった「とみや不動産」からご紹介を頂いた物件について、スケルトン方式で、躯体は大家さんが建設をして、内装を法人が東京都の補助を申請して行うという方法でできないだろうか？とのご提案を受けて、法人内でも話し合いをして、お受けすることとなり、東京都への事前協議（相談）に申し込み、事業計画書を提出し準備を進めている最中です。

●プロジェクトメンバー：前川奈央、石坂泰子、舟山佐智、長谷川美枝子、森戸基之、堀内治子、亀田良一郎、山口寛孝、内田喜則 9名

●オブザーバー： 荘司和代、原良男 2名

資金収支決算書
(自)令和4年4月1日(至)令和5年3月31日

(単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
収入	就労支援事業収入	20,708,375		7,393,598	13,454,677	*
	受託事業収入	7,848,491		4,441,401	3,407,090	
	喫茶事業収入	6,659,100			6,659,100	
	自主製品事業収入	973,216		709,777	301,189	*
	菓子、調理製造事業収入	3,501,017		1,630,058	1,874,559	*
	アイスクリーム製造事業収入	1,585,590		523,392	1,063,498	*
	簡易受託受注事業収入	118,628		88,970	29,658	
	仕入れ商品売り上げ収入	28,733			119,583	*
	障害福祉サービス等事業収入	169,295,990		71,521,546	53,627,183	44,147,261
	自立支援給付費収入	138,311,033		64,450,348	41,690,943	32,169,742
	介護給付費収入	64,450,348		64,450,348		
	訓練等給付費収入	73,860,685			41,690,943	32,169,742
	利用者負担金収入	402,628		402,628		
	特定費用収入	11,282,820				11,282,820
	その他の事業収入	19,299,509		6,668,570	11,936,240	694,699
	補助金事業収入	19,299,509		6,668,570	11,936,240	694,699
	借入金利息補助金収入	157,080		36,530	120,550	
	経常経費寄附金収入	5,426,750	5,297,000	57,126	72,624	
	受取利息配当金収入	81,661	80,642	351	547	121
	その他の収入	1,124,740	582,288	235,521	240,931	66,000
	受入研修費収入	57,000		24,186	32,814	
	利用者等外給食費収入	66,000				66,000
	雑収入	1,001,740	582,288	211,335	208,117	
	雑収入	1,001,740	582,288	211,335	208,117	
	事業活動収入計(1)	196,794,596	5,959,930	79,244,672	67,516,512	44,213,382*
事業活動による収支	人件費支出	131,854,745	169,860	68,852,670	38,972,943	23,859,272
	役員報酬支出	169,860	169,860			
	職員給料支出	56,246,313		29,645,702	22,023,875	4,576,736
	職員賞与支出	16,478,780		9,410,520	5,739,487	1,328,773
	非常勤職員給与支出	41,983,651		20,547,344	4,599,441	16,836,866
	退職給付支出	2,110,840		1,621,340	445,000	44,500
	法定福利費支出	14,865,301		7,627,764	6,165,140	1,072,397
	事業費支出	15,573,335		4,606,411	5,826,590	5,172,284*
	給食費	2,664,288				2,664,288
	保健衛生費支出	2,161,664		968,981	1,091,483	101,200
	被服費支出	4,280			4,280	
	教養娯楽費支出	622,357		289,484	332,873	
	日用品費支出	272				272
	水道光熱費支出	5,865,783		1,579,402	2,381,268	1,905,113
	消耗器具備品費支出	957,680		162,689	396,240	430,701*
	保険料支出	637,740		312,115	279,095	46,530
	賃借料支出	411,199		65,095	346,104	
	教育指導費支出	571,130		393,884	177,246	
	車輌費支出	1,660,362		834,126	817,236	9,000
	雑支出	16,610		665	765	15,180
	事務費支出	23,505,331	1,540,402	4,237,417	6,266,113	11,569,349*
	福利厚生費支出	256,966		153,903	92,075	10,988
	職員被服費支出	19,976			19,976	
	旅費交通費支出	62,200	62,200			
	研修研究費支出	34,972		13,220	21,752	
	事務消耗品費支出	412,501	97,091	162,964	166,595	76,701*
	印刷製本費支出	149,589	146,719	512	2,358	
	修繕費支出	828,963		420,165	408,798	
	通信運搬費支出	973,297	2,286	237,540	316,378	417,093
	広報費支出	365,117	45,502	177,629	141,986	
	業務委託費支出	2,906,612		1,469,746	1,242,166	194,700
	その他の委託費支出	2,906,612		1,469,746	1,242,166	194,700
	手数料支出	201,786	4,167	82,839	104,913	9,867
	保険料支出	206,300	60,000	146,300		
	賃借料支出	8,250		3,837	4,413	
	土地・建物賃借料支出	14,358,720		660,000	2,838,720	10,860,000
	租税公課支出	1,147,100		550,577	596,523	
	保守料支出	263,501	34,540	73,681	155,280	
	諸会費支出	78,436	4,736	29,544	44,156	
	雑支出	1,237,445	1,083,161	54,960	110,024	*
	雑支出 (事務)	1,237,445	1,083,161	54,960	110,024	*
	就労支援事業支出	20,847,285		7,393,159	13,454,126	
	就労支援事業販売原価支出	20,847,285		7,393,159	13,454,126	
	就労支援事業支出	20,847,285		7,393,159	13,454,126	
	支払利息支出	157,080		73,304	83,776	
	その他の支出	17,220		8,182	9,038	
	利用者等外給食費支出	2,720		1,438	1,282	
	雑支出	14,500		6,744	7,756	
	雑支出	14,500		6,744	7,756	
	事業活動支出計(2)	191,954,996	1,710,262	85,171,143	64,612,586	40,600,905*
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		4,839,600	4,249,668	△ 5,926,471	2,903,926	3,612,477

資金収支決算書
(自)令和 4年 4月 1日(至)令和 5年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	666,000		309,767	356,233	
	施設整備等補助金収入	666,000		309,767	356,233	
	固定資産売却収入	916,287	916,287			
	その他の固定資産売却収入	916,287	916,287			
	施設整備等収入計(4)	1,582,287	916,287	309,767	356,233	
支出	設備資金借入金元金償還支出	1,540,000			1,540,000	
	固定資産取得支出	2,210,000	1,000,000	562,791	647,209	
	器具及び備品取得支出	1,210,000		562,791	647,209	
	ソフトウェア取得支出	1,000,000	1,000,000			
	施設整備等支出計(5)	3,750,000	1,000,000	562,791	2,187,209	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 2,167,713	△ 83,713	△ 253,024	△ 1,830,976	
その他の活動による収支	積立資産取崩収入	152,840		152,840		
	退職給付引当資産取崩収入	152,840		152,840		
	拠点区分間繰入金収入					
	その他の活動収入計(7)	152,840		152,840		
	積立資産支出	1,003,138	22	580,750	345,086	77,280
支出	退職給付引当資産支出	1,003,030		580,750	345,000	77,280
	設備等整備積立資産支出	108	22		86	
	拠点区分間繰入金支出					
	その他の活動による支出					
	差入保証金支出					
長期前払費用支出						
その他の活動支出計(8)		1,003,138	22	580,750	345,086	77,280
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 850,298	△ 22	△ 427,910	△ 345,086	△ 77,280
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)		1,821,589	4,165,933	△ 6,607,405	727,864	3,535,197
前期末支払資金残高(11)		134,467,426	48,051,834	42,837,145	40,362,664	3,215,783
当期末支払資金残高(10)+(11)		136,289,015	52,217,767	36,229,740	41,090,528	6,750,980

*…内部取引あり

事業活動収支決算書
(自)令和 4年 4月 1日 (至)令和 5年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
収益	就労支援事業収益	20,708,375		7,393,598	13,454,677	*
	受託事業収益	7,848,491		4,441,401	3,407,090	
	喫茶事業収益	6,659,100			6,659,100	
	自主製品事業収益	1,048,716		709,777	301,189	*
	菓子、調理製造事業収益	3,508,217		1,630,058	1,874,559	*
	アイスクリーム製造事業収益	1,588,190		523,392	1,063,498	
	簡易受託受注事業収益	118,628		88,970	29,658	
	仕入れ商品売り上収益	210,433			119,583	*
	障害福祉サービス等事業収益	169,295,990		71,521,546	53,627,183	44,147,261
	自立支援給付費収益	138,311,033		64,450,348	41,690,943	32,169,742
	介護給付費収益	64,450,348		64,450,348		
	訓練等給付費収益	73,860,685			41,690,943	32,169,742
	利用者負担金収益	402,628		402,628		
	特定費用収益	11,282,820				11,282,820
	その他の事業収益	19,299,509		6,668,570	11,936,240	694,699
	補助金事業収益	19,299,509		6,668,570	11,936,240	694,699
	経常経費寄附金収益	5,426,750	5,297,000	57,126	72,624	
	サービス活動収益計(1)	195,431,115		78,972,270	67,154,484	44,147,261*
サービス活動増減の部	人件費	132,401,348	169,860	68,794,497	39,494,739	23,942,252
	役員報酬	169,860	169,860			
	職員給料	56,246,313		29,645,702	22,023,875	4,576,736
	職員賞与	11,993,100		7,104,140	3,882,187	1,006,773
	賞与引当金繰入	4,182,093		2,119,527	1,734,866	327,700
	非常勤職員給与	41,983,651		20,547,344	4,599,441	16,836,866
	退職給付費用	2,961,030		1,750,020	1,089,230	121,780
	法定福利費	14,865,301		7,627,764	6,165,140	1,072,397
	事業費	15,612,833		4,633,857	5,838,642	5,172,284*
	給食費	2,664,288				2,664,288
	保健衛生費	2,161,664		968,981	1,091,483	101,200
	被服費	4,280			4,280	
	教養娯楽費	622,327		289,454	332,873	
	日用品費	272				272
	水道光熱費	5,055,783		1,579,402	2,381,268	1,095,113
	消耗器具備品費	957,680		162,689	396,240	430,701*
	保険料	677,238		339,561	291,147	46,530
	賃借料	411,199		65,095	346,104	
	教育指導費	571,130		393,884	177,246	
	車輌費	1,660,362		834,126	817,236	9,000
	雑費	16,610		665	765	15,180
	事務費	23,698,664	1,540,402	4,237,417	6,266,113	11,762,682*
	福利厚生費	256,966		153,903	92,075	10,988
	職員被服費	19,976			19,976	
	旅費交通費	62,200	62,200			
	研修研究費	34,972		13,220	21,752	
	事務消耗品費	412,501	97,091	162,964	166,595	76,701*
	印刷製本費	149,589	146,719	512	2,358	
	修繕費	828,963		420,165	408,798	
	通信運搬費	973,297	2,286	237,540	316,378	417,093
	広報費	365,117	45,502	177,629	141,986	
	業務委託費	2,906,612		1,469,746	1,242,166	194,700
	その他の委託費	2,906,612		1,469,746	1,242,166	194,700
	手数料	201,786	4,167	82,839	104,913	9,867
	保険料	206,300	60,000	146,300		
	賃借料	8,250		3,837	4,413	
	土地・建物賃借料	14,552,053		660,000	2,838,720	11,053,333
	租税公課	1,147,100		550,577	596,523	
	保守料	263,501	34,540	73,681	155,280	
	諸会費	78,436	4,736	29,544	44,156	
	雑費	1,237,445	1,083,161	54,960	110,024	*
	雑費（事務）	1,237,445	1,083,161	54,960	110,024	*
	就労支援事業費用	20,848,283		7,378,512	13,469,771	
	就労支援事業販売原価	20,848,283		7,378,512	13,469,771	
	期首製品(商品)棚卸高	281,229		79,969	201,260	
	就労支援事業費	20,803,860		7,371,266	13,432,594	
	期末製品(商品)棚卸高	△ 236,806		△ 72,723	△ 164,083	
	減価償却費	5,714,825		1,884,728	3,116,399	713,698
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 4,628,606		△ 1,704,918	△ 2,394,170	△ 529,518
	サービス活動費用計(2)	193,647,347	1,710,262	85,224,093	65,791,494	41,061,398*
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	1,783,768	3,586,738	△ 6,251,823	1,362,990	3,085,863

事業活動収支決算書
(自)令和 4年 4月 1日(至)令和 5年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
サービス活動収益	借入金利息補助金収益	157,080		36,530	120,550	
	受取利息配当金収益	153,296	152,277	351	547	121
	その他のサービス活動外収益	1,124,740	582,288	235,521	240,931	66,000
	利用者等外給食費収益	66,000				66,000
	受入研修費収益	57,000		24,186	32,814	
	雑収益	1,001,740	582,288	211,335	208,117	
	雑収益	1,001,740	582,288	211,335	208,117	
サービス活動外収益計(4)		1,435,116	734,565	272,402	362,028	66,121
外増減費用の部	支払利息	157,080		73,304	83,776	
	その他のサービス活動外費用	17,220		8,182	9,038	
	利用者等外給食費	2,720		1,438	1,282	
	雑損失	14,500		6,744	7,756	
	雑損失	14,500		6,744	7,756	
サービス活動外費用計(5)		174,300		81,486	92,814	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		1,260,816	734,565	190,916	269,214	66,121
経常増減差額(7)=(3)+(6)		3,044,584	4,321,303	△ 6,060,907	1,632,204	3,151,984
特別増減費用の部	施設整備等補助金収益	666,000		309,767	356,233	
	施設整備等補助金収益	666,000		309,767	356,233	
	特別収益計(8)	666,000		309,767	356,233	
	国庫補助金等特別積立金積立額	666,000				
特別費用計(9)		666,000				
特別増減差額(10)=(8)-(9)				309,767	356,233	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		3,044,584	4,321,303	△ 5,751,140	1,988,437	3,151,984
繰越活動増減差額(12)		184,601,390	60,634,290	39,478,333	80,655,593	3,833,174
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		187,645,974	64,955,593	33,727,193	82,644,030	6,985,158
基本金取崩額(14)						
その他の積立金取崩額(15)						
増減差額の部 その他の積立金積立額(16)		108	22		86	
工賃変動積立金積立額						
設備等整備積立金積立額		108	22		86	
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		187,645,866	64,955,571	33,727,193	82,643,944	6,985,158

*…内部取引あり

貸借対照表
令和 5年 3月31日現在

(単位:円)

		資産の部			負債の部		
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流动資産	162,567,121	159,563,121	3,004,000	流动負債	31,272,443	30,375,443	897,000
現金預金	132,517,869	133,236,891	△ 719,022	事業未払金	22,507,361	22,701,403	△ 194,042
事業未収金	27,134,519	23,617,036	3,517,483	1年以内返済予定設備資金借入金	1,540,000	1,540,000	0
未収金	9,937		9,937	預り金	2,515,088	2,06,926	2,308,162
未取補助金	1,182,800	861,520	321,280	職員預り金	527,901	1,441,434	△ 913,533
商品・製品	236,806	281,229	△ 44,423	賞与引当金	4,182,093	4,485,680	△ 303,587
仕掛品	8,905	8,382	523				0
原材料	270,007	223,490	46,517				0
立替金	89,240	180,242	△ 91,002				0
前払費用	1,117,038	1,137,831	△ 20,793				0
仮払金		16,500	△ 16,500				0
固定資産	293,002,113	296,750,865	△ 3,748,752	固定負債	8,678,040	9,401,770	△ 723,730
基本財産	256,620,721	260,486,401	△ 3,865,680	設備資金借入金	6,160,000	7,700,000	△ 1,540,000
土地	160,000,000	160,000,000	0	退職給付引当金	2,518,040	1,701,770	816,270
建物	86,620,721	90,486,401	△ 3,865,680	負債の部合計	39,950,483	39,777,213	173,270
定期預金	10,000,000	10,000,000	0	純資産の部			
その他の固定資産	36,381,392	36,264,464	116,928	基本金	10,000,000	10,000,000	0
建物	980,371	1,291,188	△ 310,817	第1号基本金	10,000,000	10,000,000	0
機械及び装置	1	1	0	国庫補助金等特別積立金	204,672,183	208,634,789	△ 3,962,606
車輛運搬具	1,114,539	2,118,516	△ 1,003,977	その他の積立金	13,300,702	13,300,594	108
器具及び備品	1,260,172	1,777,972	△ 517,800	工賃変動積立金	5,894,224	5,894,224	0
権利	216,000	216,000	0	設備等整備積立金	7,406,478	7,406,370	108
ソフトウェア	1,189,834	1,189,834	0				
投資有価証券	9,982,091	9,910,456	71,635	次期繰越活動増減差額	187,645,866	184,601,390	3,044,476
退職給付引当資産	2,518,040	1,701,770	816,270	(うち当期活動増減差額)	3,044,584	△ 421,324	3,465,908
工賃変動積立資産	5,894,224	5,894,224	0				
設備等整備積立資産	7,406,478	7,406,370	108				0
差入保証金	4,500,000	4,500,000	0				0
長期前払費用	671,779	883,817	△ 212,038				0
その他の固定資産	647,863	564,150	83,713	純資産の部合計	415,618,751	416,536,773	△ 918,022
資産の部合計	455,569,234	456,313,986	△ 744,752	負債及び純資産の部合計	455,569,234	456,313,986	△ 744,752

社会福祉法人調布を耕す会 2023年度事業計画

I 重点目標

1. 社会福祉事業 「しごと場 大好き」分場「しごと場大好き 国領」「カフェ 大好き」の運営の充実に努める。
2. 社会福祉法人として、地域福祉の担い手となるべく、多くの市民とともに事業・活動の一層の充実、展開を目指す。
3. グループホーム「DAISUKI」ユニット「パンプキン」の運営の充実に努める。
4. 第5期中期計画（2022～2024年度）に取り組む。
5. 延期となった30周年沖縄旅行を実現します。

II 生活介護「しごと場 大好き」・分場「しごと場 大好き 国領」の運営

所在地 東京都調布市布田3-20-1

利用定員 10名 現員15名《区分6(6) 区分5(7) 区分4(2)》

職員定数

所長（管理者）	1名（常勤）
サービス管理責任者	1名（常勤）（所長兼務）
医師	1名（嘱託）
看護職員	1名（非常勤）
機能訓練指導員	1名（常勤）
生活支援員	10名（常勤6名、非常勤4名）
事務職員	1名（非常勤・兼務）

分場「しごと場大好き 国領」

所在地 東京都調布市国領7-17-26

利用定員 7名 現員6名《区分5(3) 区分4(3)》

職員定数

所長（管理者）	1名（常勤・兼務）
サービス管理責任者	1名（常勤・兼務）
生活支援員	3名（常勤2名、非常勤1名）

1. 事業運営基本計画

指定生活介護の事業は、通所メンバー（以下メンバーとする）が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者自立支援法施行規則第二条の四に規定するものに対して、入浴、排せつ又は食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快にゆうゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める。

2. 今年度方針

「しごと場大好き」：新たに策定した第5期中期計画に沿って、課題改善に取り組みより良いサ

ービス提供体制を作ります。また、新たな研修制度（サポートーズカレッジ）を活用しながら職員の人才培养に力を入れ、メンバー支援の充実を図ります。

分場「しごと場大好き 国領」：日々の日課を通して生活の安定を目指し、仲間と共に楽しく穏やかな日々を過ごしながら社会で生きるための術を磨きます。

3. メンバーの処遇

(1) 生活支援

メンバーの基本的人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と機能の向上に努めます。

(2) 創作活動援助

メンバーの意思や個性・特性を尊重し、社会との結びつきを大切にした生産活動を行います。

4. 活動内容

「しごと場大好き」

(1) 日常生活上の支援を提供

ADLが未自立なメンバーに対して、介護など日常生活上の支援を通して、身体能力、日常生活能力の維持・向上に努めます。

(2) 創作活動の機会の提供

創作活動を通して、身体能力、日常生活能力の維持・向上を図ります。分場との連携を意識し積極的に交流の機会を設けます。

(3) 簡易受託受注事業

封入封緘や下請け軽作業、ポスティングなどを通じて地域への障害者理解を促進し、働く事への意欲を喚起します。

(4) その他の事業

①社会体験グループ活動（お金の学習／余暇／運動／コミュニケーションマナーなどのグループ活動）

②地域に根ざした活動（地域向け施設開放行事各種／公園清掃／駅前清掃／駐輪場清掃）

③受託事業、食品加工事業などB型事業所との共同事業

④自立訓練（日常の生活や作業の中で、個別支援等を通じて社会生活に活きるプログラムを提供して行く）

⑤在宅支援：大規模震災水災害、感染症拡大他、在宅による支援がやむを得ないと市区町村が判断した場合、在宅での支援を提供する場合があります。

⑥専門職による支援：理学療法士、言語聴覚士、彫金作家など専門職に定期的に来訪いただき各分野の知識と技術を学びながらメンバー支援の質を向上させていきます。

⑦リハビリ：ストレッチ、ダンス、トレーニング等を通じて身体的退行抑制に努めます。

分場「しごと場大好き国領」

(1) 生活力の向上と維持

ADLが未自立なメンバーに対し、日常的なサポートに加え自分で判断する力を伸ばしていくような取り組みを行うことで自発性の向上を目指します。

(2) 作業の取り組み

メンバー個々の能力に応じた作業提供を行います。難しいと感じる作業に対して工程の細分化（スマートルステップ）や多角的な視野を持ち、作業にメンバーを合わせるのではなくメンバーに作業を合わせ、技術の習得を目指します。また、それぞれの特性を生かした作業や社会との繋がりを持てるような作業を開拓していきます。

作業項目

自主製品の制作と販売

- ・紙すき（手すきコースター）
- ・コインを使ったアクセサリー作り（リング・コンチョ・ミサンガ）
- ・皮のキーホルダー作り
- ・メンバーデザインの人形作り
- ・シルクスクリーンでの製品作り（Tシャツ・手ぬぐい）

受注作業

- ・定期清掃・駐輪場清掃・ポスティング・フリンジ等

5. 防災計画

しごと場大好き防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年2～4回実施します。

所長 総指揮（防火管理責任者）

生活支援員 救助担当・消火担当・連絡・報告担当

機能訓練指導員 避難訓練担当者

分場では独自の防災計画を作成し避難訓練等を年2～4回実施します。

主任 総指揮（防火管理責任者）

生活支援員 救助担当・消火担当・連絡・報告担当

機能訓練指導員 避難訓練担当者

6. 日課

職員出勤 打合せ・送迎	8：30
通所	9：00
打合せ・準備	9：15
作業開始	9：15～12：00
昼食・休憩	12：00～13：00
作業開始	13：00～15：00
作業終了・片付け・掃除	15：00～15：45
打合せ・帰宅準備・帰宅	15：45～16：00
送迎	16：00～16：45
職員打合せ	17：00
閉所	17：30

7. 苦情解決

苦情対応規定に基づき苦情受付担当 援助主任：後藤 朋子 042-486-1022

苦情解決責任者 所長：亀田 良一郎 042-486-1022 を置く

分場

苦情対応規定に基づき苦情受付担当 分場主任：矢内 真澄 042-444-3733

苦情解決責任者 所長：亀田 良一郎 042-486-1022 を置く

8. 第三者委員

三田 恵美（特別支援学校教員） 伊藤 正子（元特別支援学校教員）の2名を置く。

年に数回の相談日に加えて訪問調査日を設けて、日常の運営の中での課題を調査して頂く。また、分場国領に於いても同じ機会を提供する。

9. 職員名簿

しごと場大好き

職 名	氏 名	資 格
所 長 (管理者・サービス管理責任者)	亀田 良一郎	社会福祉士
生活支援員・調理主任	亀田 弘美	
機能訓練指導員	広沢 真	社会福祉士
生活支援員・スーパーバイザー	米倉 佳の子	介護福祉士 社会福祉士
生活支援員	三谷 雄毅	
生活支援員	小林 大志	社会福祉士
生活支援員	松本 貴匡	
生活支援員	日下石 誠	
生活支援員	佐藤 愛	社会福祉士
生活支援員	牧田 洋子	
生活支援員	阿部 佳恵	
生活支援員	河野 知美	
事務職員・支援員兼務	松原 中代	
看護職員 (非常勤)	上田 砂恵子	看護師

分場「しごと場大好き国領」

職名	氏名	資格
所長（兼務） (管理者・サービス管理責任者)	亀田 良一郎	社会福祉士
機能訓練指導員・援助主任	矢内 真澄	介護福祉士
生活支援員	山口 紋乃	休職中
生活支援員	澤上 美穂子	

10. 職員研修計画

新たにサポートアーズカレッジという研修制度を活用し職員個々に応じたスキルアップを目指します。

11. 資金計画

通常の運営経費は運営費でまかねます。昨年は厳しい運営状況となっている所から、節約とメンバー利用率の増加を意識して財政状況の回復に努めます。

Ⅲ 就労継続支援B型「しごと場大好き」・出張所「カフェ大好き」の運営

【就労継続支援B型「しごと場大好き」】

所在地 東京都調布市布田3-20-1

利用定員 20名 現員24名

職員定数

所長（管理者）	1名（常勤）
サービス管理責任者	1名（常勤・所長兼務）
職業指導員	3名（常勤 1名、非常勤2名）
生活支援員	2名（常勤 1名、非常勤1名）
目標工賃達成指導員	1名（常勤）
事務職員	1名（非常勤）

1. 事業運営基本計画

指定就労継続支援（B型）の事業は、通所メンバー（以下メンバーとする）が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者自立支援法施行規則第六条の十第二号に規定する者に対して就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快にゆうゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める。

2. 今年度方針

昨年は、コロナ禍、物価高騰、人員配置、最賃の引き上げなど複数の要因があり事業費は財政的に厳しい年だった。今年は新しいメンバーが加わる事もあり、メンバーの出勤率を引き上げ、

節約も意識しながら財政的な回復を目指したい。そうした中でも就労支援部門では喫茶部門をはじめ各作業で収入は増加して目標にしていた平均工賃3万円が達成された。今年度から新たに受託作業が増えると共に大規模店でのジェラート販売が始まったこともあり、更に次のランクへの工賃引き上げを目指したい。また、業者委託でICTを活用した各種記録作成のシステムが始まっている。プラスシャアップさせながら早期に軌道に乗せて生活介護部門、グループホームなどと一体的に業務効率化を図り支援記録の充実を図りたい。

3. メンバーの処遇

(1) 生産活動援助

メンバーの意思や個性・特性を尊重し、社会との結びつきを大切にした生産活動を行います。

(2) 生活指導

メンバーの基本的人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と機能の向上に努めます。

(3) 職業訓練指導

就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等の提供を行います。その中で施設外就労による訓練も行っていきます。

4. 生産活動内容

(1) 受託事業

地域貢献に繋がる行政からの委託事業を通して、仕事に対する誇りと責任を培います。施設外就労にも積極的に取り組んでいきます。(牛乳パック回収、公園清掃、メール交換、ボスティング、駐輪場散水、クリーンセンター清掃)

(2) 自主製品事業

創作活動(芸術活動)とその販売を通して、地域への障害者理解の促進と働くことへの意欲を喚起します。都運営の福祉ショップ「KURUMIRU」での販売や障害者アート展にも積極的に取り組みます。(陶芸、組み紐、ポストカード、絵画他)

(3) 喫茶事業

駅前商店街での喫茶店、福祉ショップ営業(カフェ大好き)での仕事を通じて社会人として必要な知識、能力を培います。

(4) 食品加工事業

食品製造、加工、販売を通しての社会人に必要な知識、能力を培います。また食品表示や、HACCPでの衛生管理を行い安全性を高め、更なる販路開拓に取組みます。(カフェ大好きでの販売食品、菓子の製造、加工)(ジェラートの製造、加工、販売)

5. 防災計画

しごと場大好き防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年2~4回実施します。

所長 総指揮

生活支援員 救助担当・連絡・報告担当

目標工賃達成指導員 救助担当・連絡・報告担当

職業指導員 消火・救助担当

6. 日 課

職員出勤	8 : 30
通所	9 : 00
打合せ・準備	9 : 15
作業開始	9 : 15～12:00
昼食・休憩	12:00～13:00
作業開始	13:00～15:00
作業終了・片付け・掃除	15:00～15:45
打合せ・帰宅準備・帰宅	15:45～16:00
送迎	16:00～16:45
職員打合せ	17:00
閉所	17:30

7. 苦情解決

苦情対応規定に基づき苦情受付担当 援助主任：後藤 朋子 042-481-3933

苦情解決責任者 所長：亀田 良一郎 042-486-1022 を置く

8. 第三者委員 *生活介護事業所と共同

三田 恵美（特別支援学校教員） 伊藤 正子（元特別支援学校教員）の2名を置く。

大好き市の他、年に数回の相談日を設け、メンバー、家族の希望者から相談を受ける。出張所においても同じ機会を利用し相談を受ける。

9. 職員名簿

職 名	氏 名	資 格
所 長 *生活介護と兼務 (管理者・サービス管理責任者)	亀田 良一郎	社会福祉士
援助主任 *カフェ大好き店長 生活支援員	後藤 朋子	
職業指導員	雲野 牧古	社会福祉士
生活支援員	廣末 可奈子	
目標工賃達成指導員	水上 結	
職業指導員	高木 里美	
職業指導員	小林 美菜子	
事務職員	内田 喜則	

10. 職員研修計画

新たに導入されるサポートアーズカレッジを研修の柱に位置付け、スキルアップが実感できる研修体制の実施に取り組みます。

11. 資金計画

通常の運営経費は運営費でまかないとします。昨年は厳しい財政状況となっている所から、節約とメンバー利用率の増加を意識して財政状況の回復に努めます。

【出張所「カフェ大好き」】

所在地 東京都調布市多摩川5—7—4 京王多摩川88ビル1F

1. 基本方針

- (1) 市民と直に接する機会を積極的に持ち、市民に理解を求めるとともに多くの社会的体験を得る場とする。
- (2) 地域の作業所の自主製品を広く市民に紹介し、積極的に販売する場とする。
- (3) 就労をした障害のある仲間が、帰宅途中気がねなく立ち寄り、英気を養える場となるよう努める。
- (4) 週末に営業することで、障害のある仲間の余暇活動をサポートする場となるよう努める。
- (5) 地域に根ざした活動をする。
- (6) 就労継続支援施設B型「しごと場大好き」の出張所として、店舗営業の作業に取組むことで「仕事」という意識により強く働きかける場とする。

2. 今年度方針

2022年度も、コロナ禍における新しい様式での営業(席数半減、仕切り版設置、机椅子レイアウト変更)を継続して行いました。席数が限られる営業体制が続きましたが、来客状況はよく、大入り袋を過去最高の年6回出すことができました。マスク着用の緩和などこの春からされる様子がありますが、お店独自の感染症予防対策を続けながらお客様が安心できる営業を続けます。

また、今年度は2年間開催できなかった周年祭の開催と、ユニフォーム一新。2月に実施した全面価格改定にともなう売り上げ状況の推移を見守り、かつその情報をデータ化して収益についての情報を職員みなで共有できるようにしていきます。

3. 事業

(1) 事業活動

①喫茶事業（喫茶店の営業）

継続して、忙しいお店を皆で協力しながら切り盛りする体制を続けていきます。一人一人自分の仕事は「これ！」と自信もって取り組める内容を充実させ、日々の仕事で達成感を得られるようにします。また、メニューブックを新調します。

②福祉ショップ事業

地域の作業所の自主製品を広く市民に紹介し、積極的に販売します。定期的な商品入れ替えも働きかけていきます。

③地域交流事業（展覧会/講演会等）

Cafeの無料ギャラリーを地域住民に一般開放し、展示会等の文化的活動の発信の場として取り組んでいきます。新型コロナウイルス感染拡大にともない休止中の「ひだまりサロン」事業については、再開された際に会場提供することで一般市民の社会交流の場作りに引き続き協力します。

(2) 利用者の処遇

- ①常時充分な処遇が受けられるスタッフの配置をこころがけます。
- ②個別の状況に応じた労働環境の提供をこころがけます。(加齢への対応、積極的な調理への参加等)
- ③安定した工賃収入が得られるよう努力します。
- ④家族と連絡を密にとり、メンバーの状況の変化を見逃さないようにします。

(3) メンバー会議

しごと場大好きの月曜日の取り組みに合同で参加します。

(4) 広報・情報提供活動

ホームページ、フェイスブック、インスタグラム等を活用して、カフェ大好きの情報発信をします。

4. 運営・管理

(1) 運営

出張所として、適正な運営を行います。

(2) 資金計画

通常の運営資金は運営費でまかねます。

(3) 衛生管理

- ①掃除を徹底し、常に店内や器具類を清潔に保ちます。
- ②手洗いや爪切りを徹底し、常に体を清潔にするよう努めます。
- ③食品の取り扱いには充分注意します。
- ④定期的に衛生管理チェックを行います。検便を年2回実施します。(4月・10月)

(4) 保守管理

気持ちよくお客様を迎える環境を保つため毎日清掃を行い、建物を美しく維持管理することに努めます。

(5) 防災計画

防災計画を作成するとともに、避難訓練を実施します。

(6) 苦情解決

苦情対応規定に基づき苦情受付担当 生活支援員：後藤 朋子 042-481-3933

苦情解決責任者 所長：亀田 良一郎 042-486-1022 を置きます。

苦情対応マニュアルに基づき、迅速な対応を心がけます。

(7) 第三者委員

三田 恵美(特別支援学校教員) 伊藤 正子(元特別支援学校教員)の2名を置きます。

(8) 施設間の連絡調整

- ①他の施設と積極的に連携し、職員の交流と施設運営の経験交流を図ります。
- ②全国喫茶コーナー交流会の活動に積極的に参加し、喫茶店事業を営む作業所と連携を深めるよう努力します。

(9) 研修

外部研修への参加が難しいため(コロナ禍により)、メンバー職員一緒に取り組めるような内部研修の機会を模索します。

IV 共同生活援助グループホーム D A I S U K I の運営

所在地 東京都調布市国領町7丁目32番地3 MFタウン国領

利用定員 5名 区分5：1名、区分4：3名、区分3：1名

職員数

一 所長（管理者） 1名（常勤）

二 サービス管理責任者 1名（兼務：常勤の生活支援員と兼務）

三 生活支援員 2名（常勤1名・非常勤1名）

四 世話人 5名（非常勤）

1. 事業運営基本計画

指定共同生活援助の提供に当たっては、メンバーが地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、メンバーの身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排せつ又は食事等の援助、相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快にゆうゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める。

2. 今年度方針

移転先を探すという事が、第1の命題となる。期限は、令和6年5月末のため令和5年度中には決定したい。どのような物件かによって、準備も変わってくるため、とりあえず、候補となる物件を一つ一つ検討していくことになる。

3. メンバーの処遇

メンバーの基本的人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と社会生活力の向上に努める。

4. 事業内容

- (1) メンバーに対する相談
- (2) 食事、入浴の提供
- (3) 健康管理
- (4) 金銭管理の援助
- (5) 余暇活動の支援
- (6) 職場、家庭等関係者への連絡調整
等生活に必要な援助

5. 防災計画

D A I S U K I 防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年2回実施する。

所長 総指揮（防火管理責任者）

生活支援員 救助担当・消火担当・連絡・報告担当

世話人 救助担当・消火担当

6. 苦情解決

苦情対応規程に基き苦情受付担当 生活支援員：山口 寛孝 042-480-0231

苦情解決責任者 所長：内田 喜則 042-486-1022 (法人本部) を置く

7. メンバーから受領する費用

指定共同生活援助事業に係る利用料は、各区市町村長が定める基準額によるものとし、当該指定共同生活援助が法定代理受領のサービスであるときは、厚生労働大臣が定める基準額の1割の額とする。ただし、各区市町村長が定める月額負担上限額の範囲内とする。また、日常にかかる経費は次のように定める。

食材料費 (朝食300円、昼食300円、夕食600円)

家賃: 60,000円 光熱水費、日用品費、雑費など実費

8. 職員名簿

職　名	氏　名	資　格
所　長	内田　喜則	
生活支援員・管理者	山口　寛孝	ホームヘルパー2級 精神保健福祉士 介護福祉士
世話人	三宅　八江子	ホームヘルパー1級 介護福祉士 介護支援専門員
世話人	桜井　洋子	ホームヘルパー2級 介護福祉士
世話人	小島良太	
世話人	新井久美子	
生活支援員（世話人を兼務）	竹中とも子	

9. 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかねます。

10. 研修計画

調布市社会福祉事業団の研修・グループホーム連絡会主催の研修・東京都主催の研修などに参加します。援助技術の専門性を高める事を目的として、研修会等に積極的に参加します。法人の取り組みにも参加します。

V 共同生活援助グループホーム D A I S U K I パンプキンの運営

所在地 東京都調布市染地2-27-6

利用定員 5名 区分6：2名、区分5：1名、区分3：2名

職員数

一 所 長（管理者）	1名（常勤）
二 サービス管理責任者	1名（常勤）
三 生活支援員	8名（常勤1名・非常勤7名）
四 世話人	6名（非常勤）
五 看護師	1名（非常勤）

1. 事業運営基本計画

指定共同生活援助の提供に当たっては、メンバーが地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、メンバーの身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排せつ又は食事等の援助、相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快にゆうゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める。

2. 今年度方針

昨年よりおこなっているグループホーム運営会議により改善案を進めて、情報の共有化と支援の統一を目指していく。勤務体制を確立して、安心して働く環境と支援を提供できる環境を崩さないように努めていく。

3. メンバーの処遇

メンバーの基本的人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と社会生活力の向上に努める。

4. 事業内容

- (1) メンバーに対する相談
- (2) 食事、入浴の提供
- (3) 健康管理
- (4) 金銭管理の援助
- (5) 余暇活動の支援
- (6) 職場、家庭等関係者への連絡調整等生活に必要な援助

5. 防災計画

D A I S U K I パンプキン防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年2回実施する。

所 長 総指揮（防火管理責任者）

生活支援員 救助担当・消火担当・連絡・報告担当

世話人 救助担当・消火担当

6. 苦情解決

苦情対応規程に基き苦情受付担当 生活支援員：山口 寛孝 042-480-0231

苦情解決責任者 所長：内田 喜則 042-486-1022 (法人本部) を置く

7. メンバーから受領する費用

指定共同生活援助事業に係る利用料は、各区市町村長が定める基準額によるものとし、当該指定共同生活援助が法定代理受領のサービスであるときは、厚生労働大臣が定める基準額の1割の額とする。ただし、各区市町村長が定める月額負担上限額の範囲内とする。また、日常にかかる経費は次のように定める。

食材料費 (朝食300円、昼食300円、夕食600円)

家賃: 61,200円 水光熱・電話・Jcom費、日用品費、事務用品費など実費

8. 職員名簿

職 名	氏 名	資 格
所 長	内田 喜則	
生活支援員・管理者	山口 寛孝	ホームヘルパー2級 精神保健福祉士 介護福祉士
世話人(兼務)	桜井洋子	ホームヘルパー2級 介護福祉士
生活支援員	原田美由紀	
生活支援員	師井佳子	介護福祉士
世話人	高橋由美子	介護福祉士
世話人	織田麗子	
生活支援員(世話人を兼務)	来田めぐみ	
生活支援員	原 泉	
生活支援員(兼務)	竹中とも子	
生活支援員	北林博子	
世話人	田中真奈	
世話人	大橋弘恵	
生活支援員	渡辺妙子	
看護師(兼務)	上田砂恵子	看護師

9. 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかねます。

10. 研修計画

調布市社会福祉事業団の研修・グループホーム連絡会主催の研修・東京都主催の研修などに参加します。援助技術の専門性を高める事を目的として、研修会等に積極的に参加します。法人の取り組みにも参加します。

VI その他の事業・活動

1. 障碍者の社会参加を支援する活動

交流活動（年間を通して随時）

四季折々の行事で障碍者と市民とが交流する機会を設けます。

2. 広報・情報提供活動

(1) 会報の発行等

会報を発行、配布することで広く法人の活動を知ってもらえるようにします。

(2) 情報提供活動

ホームページを活用し、法人のリアルタイムな情報を提供できるようにします。

3. 市民参加型事業・活動の開発と企画・実施

(1) 「それはおしゃれなコンサート（第28回）」の実施

日時：2024年1月14日（日）

会場：調布市文化会館たづくり くすのきホール

出演者：TSUKEMENさん

障害の有無にかかわらず、身近な地域で本格的なコンサートと共に楽しむことを目的としたコンサートを開催します。

4. 協力・連携事業

(1) 文化的活動の実施

(2) 他団体等への支援・協力活動の実施

VII. 組織運営

1. 組織運営

社会福祉事業 「しごと場 大好き」・「カフェ 大好き」・「しごと場大好き国領」グループホーム「DAISUKI」・グループホーム「パンプキン」を運営する態勢を整えるとともに、事業・活動を円滑に進めるため、組織運営の確立を図ります。

(1) 理事会、評議員会の開催 *予定

第1回理事会 6月 3日（土） 第1回定期評議員会 6月 24日（土）

第2回理事会 9月 2日（土）

第3回理事会 11月 25日（土）

第4回理事会 1月 27日（土）

第5回理事会 3月 9日（土） 第2回評議員会 3月 23日（土）

*評議員会は、上記2回の他、必要に応じて理事会が招集する。

(2) 事務局の確立による事務処理の円滑化

事務部門の体制の確立を目指して、職務分掌の洗い出し、年間のスケジュール化等を行い、法人監査が滞りなく終わるように未整備部分の手直しを行います。以下は事務局会議日程（予定）です。

4/24、5/22、6/12、7/24、8/21、9/25、10/23、11/13、12/18、1/15、2/26、3/11

(3) 市民の参画を得るための委員会の確立

コンサートなど一般市民と共に行事を企画段階から作り上げていきます。

(4) 理事・監事、評議員の研修実施
適正な運営をするため、役員の研修の機会を設けます。

2. 財源の開拓・確保

長期的な展望をもった事業・活動を運営していくために、自主財源の充実に努めます。
おやじの会の活動等を通じて、自主財源の確保に向けた取り組みを進めます。

2023年度 予算書内訳表

(自)令和5年 4月 1日(至)令和6年 3月31日

2023年3月時点 (単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
収入	就労支援事業収入	21,229,000		6,927,000	14,357,000	
	受託事業収入	8,165,000		3,910,000	4,255,000	
	喫茶事業収入	6,600,000			6,600,000	
	自主製品事業収入	839,000		555,000	329,000	
	菓子、調理製造事業収入	3,220,000		1,332,000	1,898,000	
	アイスクリーム製造事業収入	2,191,000		930,000	1,261,000	
	簡易受託受注事業収入	214,000		200,000	14,000	
	障害福祉サービス等事業収入	169,295,000		72,360,000	53,155,000	43,780,000
	自立支援給付費収入	141,310,000		66,000,000	42,650,000	32,660,000
	介護給付費収入	66,000,000		66,000,000		
	訓練等給付費収入	75,310,000			42,650,000	32,660,000
	利用者負担金収入	360,000		360,000		
	特定費用収入	11,120,000				11,120,000
	その他の事業収入	16,505,000		6,000,000	10,505,000	
	補助金事業収入	16,505,000		6,000,000	10,505,000	
	その他の事業収入	2,100,000			2,100,000	
	補助金事業収入	2,100,000			2,100,000	
	借入金利息補助金収入	165,000		150,000	15,000	
	経常経費寄附金収入	2,839,000	1,400,000	1,150,000	289,000	
	受取利息配当金収入	86,000	80,000	2,000	3,000	1,000
	その他の収入	2,133,000	1,500,000	30,000	523,000	80,000
	受入研修費収入	33,000		10,000	23,000	
	利用者等外給食費収入	60,000				60,000
	雑収入	2,040,000	1,500,000	20,000	500,000	20,000
	雑収入	2,040,000	1,500,000	20,000	500,000	20,000
	事業活動収入計(1)	197,847,000	2,980,000	80,619,000	70,442,000	43,861,000
事業活動による収支	人件費支出	129,244,000	191,000	66,414,000	38,922,000	23,717,000
	役員報酬支出	191,000	191,000			
	職員給料支出	64,171,000		34,359,000	24,630,000	5,182,000
	職員賞与支出	13,690,000		7,100,000	5,350,000	1,240,000
	非常勤職員給与支出	35,297,000		15,880,000	3,617,000	15,800,000
	退職給付支出	122,000				122,000
	派遣職員支出	700,000		700,000		
	法定福利費支出	15,073,000		8,375,000	5,325,000	1,373,000
	事業費支出	15,317,000		4,621,000	4,880,000	5,816,000
	給食費支出	2,620,000			2,620,000	
	保健衛生費支出	1,821,000		861,000	960,000	
	被服費支出	10,000		10,000		
	教養娛樂費支出	450,000		200,000	230,000	20,000
	水道光熱費支出	5,175,000		1,850,000	1,340,000	1,985,000
	消耗器具備品費支出	1,450,000		470,000	500,000	480,000
	保険料支出	474,000		175,000	220,000	79,000
	賃借料支出	300,000			300,000	
	教育指導費支出	430,000		200,000	230,000	
	葬祭費支出	20,000		10,000	10,000	
	車輢費支出	1,820,000		770,000	1,000,000	50,000
	業務委託費支出	117,000				117,000
	雑支出	540,000		25,000	50,000	465,000
	地域交流費支出	90,000		50,000	40,000	
	事務費支出	26,911,000	2,431,000	5,718,000	7,328,000	11,439,000
	福利厚生費支出	257,000		165,000	85,000	7,000
	職員被服費支出	20,000			20,000	
	旅費交通費支出	83,000	50,000	20,000	13,000	
	研修研究費支出	200,000		93,000	107,000	
	事務消耗品費支出	572,000	100,000	150,000	200,000	122,000
	印刷製本費支出	160,000	150,000	10,000		
	修繕費支出	680,000		300,000	380,000	
	通信運搬費支出	1,041,000	10,000	260,000	340,000	431,000
	会議費支出	10,000		10,000		
	広報費支出	329,000	50,000	165,000	114,000	
	業務委託費支出	3,220,000		1,500,000	1,720,000	
	その他の委託費支出	3,220,000		1,500,000	1,720,000	
	手数料支出	199,000	5,000	80,000	100,000	14,000
	保険料支出	340,000	60,000	280,000		
	土地・建物賃借料支出	11,720,000		860,000		10,860,000
	租税公課支出	910,000	56,000	350,000	500,000	4,000
	保守料支出	395,000	50,000	145,000	200,000	
	涉外費支出	10,000			10,000	
	諸会費支出	56,000	10,000	25,000	20,000	1,000
	雑支出	3,870,000	1,890,000	1,305,000	680,000	
	共済財団退職金掛金支出	1,870,000		1,200,000	670,000	
	雑支出(事務)	2,000,000	1,890,000	105,000	10,000	
	就労支援事業支出	21,284,000		6,927,000	14,357,000	
	就労支援事業販売原価支出	21,284,000		6,927,000	14,357,000	
	就労支援事業支出	13,854,000		6,927,000	6,927,000	
	支払利息支出	65,000			65,000	
	事業活動支出計(2)	192,821,000	2,622,000	83,680,000	65,552,000	40,972,000
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	5,026,000	358,000	△ 3,061,000	4,890,000	2,889,000

2023年度 予算書内訳表

(自)令和5年 4月 1日 (至)令和6年 3月31日

2023年3月時点 (単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
施設整備等による収支	収入					
		施設整備等収入計(4)				
	支出	設備資金借入金元金償還支出 固定資産取得支出 車両運搬具取得支出 器具及び備品取得支出	1,540,000 3,200,000 3,000,000 200,000		200,000 3,000,000 3,000,000 200,000	1,540,000 3,000,000 3,000,000
		施設整備等支出計(5)	4,740,000	200,000	4,540,000	
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 4,740,000	△ 200,000	△ 4,540,000	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入 工賃変動積立資産取崩収入 拠点区分間繰入金収入	3,571,000		3,571,000	
		その他の活動収入計(7)	3,571,000		3,571,000	
	支出	積立資産支出 退職給付引当資産支出 拠点区分間繰入金支出	660,000 660,000 3,571,000	3,571,000	310,000 310,000	350,000 350,000
		その他の活動支出計(8)	4,231,000	3,571,000	310,000	350,000
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 660,000	△ 3,571,000	3,261,000	△ 350,000
予備費支出(10)						
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△ 374,000	△ 3,213,000			2,889,000
前期末支払資金残高(12)		132,762,000	50,500,000	35,000,000	40,362,000	6,900,000
当期末支払資金残高(11)+(12)		132,388,000	47,287,000	35,000,000	40,362,000	9,789,000

一年間の活動日誌

2022年4月1日～2023年3月31日

法人本部の活動

4	23 会報発送〈No.181〉 26 第4期将来構想プロジェクト㉕ 27 GH移転プロジェクト㉗ 28 30周年プロジェクト⑤	5 2 法人事務局① 13 30周年プロジェクト記念誌部会 16 GH運営委員会 20 30周年プロジェクト⑥ 23 法人事務局② 26 第4期将来構想プロジェクト㉖ 28 会計監事監査
---	--	--



6	4 将來構想拡大プロジェクト「8050問題」又村氏講演 11 理事会① 13 GH運営委員会 17 30周年プロジェクト記念誌部会 25 会報発送〈No.182〉 26 評議員会① 27 法人事務局③ 29 会計監査	7 8 30周年プロジェクト⑦ 11 GH運営委員会 22 30周年プロジェクト記念誌部会 25 法人事務局④
---	---	---

8	4 会計監査 8 GH運営委員会 13 夏期休業（～16日） 19 会計監査・30周年プロジェクト⑧ 22 法人事務局⑤ 26 30周年プロジェクト記念誌部会 29 会報〈No.183〉・年次レポート発行	9 3 理事会② 9 30周年プロジェクト⑧ 15 第5期将来構想プロジェクト① 21 会計監査 26 法人事務局⑥ 30 30周年プロジェクト⑨
---	--	---

10	7 GH移転プロジェクト㉙ 19 会計監査 21 30周年プロジェクト記念誌部会 22 会報発送〈No.184〉 24 GH移転プロジェクト㉚ 28 30周年プロジェクト⑨ 31 法人事務局⑦	11 10 第5期将来構想プロジェクト② 11 30周年プロジェクト記念誌部会 14 会計監査 18 バザープロジェクト① 25 30周年プロジェクト⑩ 26 理事会③ 29 30周年プロジェクト記念誌部会
----	--	--

12	13 会計監査 19 法人事務局⑨ 24 会報発送〈No.185〉 29 冬期休業（～1/3）	1 5 第5期将来構想プロジェクト③ 6 30周年プロジェクト⑪ 13 バザープロジェクト② 16 GH運営委員会 17 法人事務局⑩ 18 会計監査 25 第5期将来構想プロジェクト④ 29 理事会④
----	--	---

2	2 会計監査 6 GH運営委員会 10 30周年プロジェクト⑫ 14 バザープロジェクト③ 25 調布を耕す会30周年記念パーティー 27 第5期将来構想プロジェクト⑤ 会報発送〈No.186〉 28 法人事務局⑪	3 2 バザープロジェクト④ 3 会計監査 6 GH運営委員会 7 法人事務局⑫ 11 ジャングルバザーフィナル開催 16 GH移転プロジェクト㉛ 17 第5期将来構想プロジェクト⑥ 18 理事会⑤ 24 30周年プロジェクト 25 評議員会②・きょうだいの会 30 バザープロジェクト⑤
---	--	---



しごと場大好き

4	4 ドライブお花見・館内清掃 5 臨時閉所 6 職員会議 在宅支援（～8日） 11 臨時閉所（～12日） 13 在宅支援（～15日） 18 しごと場大好き国領臨時閉所 クリーンウォーク・館内清掃 下半期特別ボーナス支給 19 理学療法士来所 23 ファミリー中止 26 理学療法士来所 28 曼珠苑出店（～5/3） 29 大好き市中止	5 2 福祉の窓開設開始 10 みんなを守ろう委員会 11 職員会議 12 内部研修「吐しゃ物講習会」（～19日） 14 げんきアート展示会（～7/18） 15 親子まつり出店 16 遠足（多摩動物公園） 20 sweetheartproject講習会（3名参加） 21 ファミリー・内部研修（耕す会について） 23 グループ活動・言語聴覚士来所 慈恵医大実習生受入れ（～27日） 25 けやきの森学園就業体験（～26日） 29 フードドライブ出店 30 クリーンウォーク・館内清掃 慈恵医大実習生受入れ（～7/1） 31 理学療法士来所
---	--	---

<p>6 1 職員会議 6 けやきの森学園実習生受入れ (~17日) みんなを守ろう委員会内部研修 7 ドクターの健康チェック 10 新任研修Web版 (2名参加) たづくりまつり (~12日) 12 たづくりまつりメンバー組み紐実演 13 音楽療法 20 クリーンウォーク・館内清掃 けやきの森学園実習生受入れ (~7/1) 21 理学療法士来所 25 ファミリー 27 グループ活動・言語聴覚士来所 28 リスクマネジメント委員会</p> <p>8 3 職員会議 5 希望の家「地域のつどい」出店 8 しごと場大好き「縁日」 13 夏期休業 (~16日) 20 ファミリー 22 音楽療法 25 パラアート展 (~31日) ・職員避難訓練 26 富士見児童館出張販売 27 なごみ出張販売・よさこい祭り出店 29 グループ活動・言語聴覚士来所 調布ヶ丘児童館出張販売 30 理学療法士来所 ドクターの健康チェック</p> <p>10 2 ほりで～ぶらん 組み紐サークル展メンバー実演 5 職員会議 老人福祉大会出店 6 支援計画会議① 7 上半期特別ボーナス支給 11 個別面談開始 13 支援計画会議② 15 パルコ前販売会出店 (~16日) 17 音楽療法 リスクマネジメント委員会 18 理学療法士来所 20 メンバー健康診断 22 ファミリー・環境フェア出店 23 BENTOフェスタ出店 24 しごと場大好きミニ運動会 26 西部児童館出張販売</p> <p>12 3 福祉まつり出店 5 社会体験活動 (買い物) 7 職員会議 8 行動援助研修 1名参加 (~9・16日) 9 冬期ボーナス支給 サービス管理責任者研修 2名参加 12 音楽療法・みんなを守ろう委員会内部研修 19 クリスマス会 20 理学療法士来所 24 ファミリー 26 大掃除 29 冬休み (~1/3)</p> <p>2 1 職員会議 6 生け花体験 (講師: 国際ソロプロチミスト東京-調布) 13 フラワーカーショップ (フラダンス講師: ラウ マカニ) 14 理学療法士来所 18 映画上映会「3セカンズ」 19 福祉実践フォーラム 20 ジャングルバザー準備・言語聴覚士来所 23 2022年度総括会議 25 ファミリー・ほりで～ぶらん 27 音楽療法 28 ドクターの健康チェック</p>	<p>7 2 調布の日出店 6 職員会議 8 夏期ボーナス支給 9 ほりで～ぶらん 12 みんなを守ろう委員会 14 お話聞きますよ (第三者委員会) 23 ファミリー中止 27 東部児童館出張販売</p> <p>9 1 職員健康診断開始 3 ほりで～ぶらん 5 福祉の窓配布開始・避難訓練 7 職員会議 9 交換研修受入れ 11 トヨタモビリティ東京飛田給店出張販売 12 クリーンウォーク・館内清掃 13 みんなを守ろう委員会 16 交換研修受け入れ 17 調布ローカルマルシェ出店 (~18日) 20 30周年記念誌写真撮影 (~26・29日) 交換研修 (1名参加) ・理学療法士来所 24 ファミリー・倉庫整理 26 グループ活動・実習生受入れ (~10/7) 慈恵医大実習生受入れ (~30日) ・言語聴覚士来所 27 コロナワクチン4回目集団接種 29 交換研修受入れ 30 組み紐サークル展参加 (~10/2)</p> <p>11 2 職員会議 7 福祉の窓配布開始 市役所ロビー展 8 ドクターの健康チェック みんなを守ろう委員会 14 ディズニーランド計画DAY 15 「千鳥扇子」作成参加 19 福人材センター面接会 22 30周年記念イベント『ディズニーランド』 24 理学療法士来所 26 ファミリー 27 ブランチ市民交流イベント 28 グループ活動・言語聴覚士来所 29 インフルエンザワクチン集団接種</p> <p>1 4 仕事始め・福祉の窓配布開始 10 理学療法士来所 11 職員会議 12 ごみカレンダー配布開始 13 国領: 臨時閉鎖 (~17日) 17 ドクターの健康チェック・みんなを守ろう委員会 リスクマネジメント委員会 21 ファミリー 23 グループ活動・言語聴覚士来所・成人を祝う会 国領: 防災点検 24 「千鳥扇子」作成 (群言堂石見銀山本店様来所) みんなを守ろう委員会 28 ほっとハート出店</p> <p>3 1 福祉の窓配布開始・職員会議 8 支援計画会議① 10 GOOD PLAZA TOKYO 出店 (~14日) 11 ジャングルバザー出店 13 クリーンウォーク・防災訓練 14 理学療法士来所・みんなを守ろう委員会 15 支援計画会議② 17 リスクマネジメント委員会 22 支援計画会議③ 25 ファミリー 27 グループ活動・言語聴覚士来所</p>
--	---

Cafe大好き



4	ギャラリー企画「しごと場大好き クラフトフェア」 1 やさしい写真教室 5 臨時休業（～17日） 18 下半期特別ボーナス支給 25 調布ランチマーケット出店	5	ギャラリー企画「しごと場大好き クラフトフェア」 6 やさしい写真教室 30 調布ランチマーケット出店
6	ギャラリー企画「アートフラワー展」 3 やさしい写真教室 6 らっきょう漬け（こぶしの会） 13 中野特別支援学校実習生受入れ（～24日）	7	ギャラリー企画「ミックスリーブス展」 1 やさしい写真教室 8 夏期ボーナス支給 24 喫茶コーナー交流会
8	ギャラリー企画「組み紐作品展」 5 やさしい写真教室 28 組み紐ワークショップ	9	ギャラリー企画「油彩展」 2 やさしい写真教室 9 避難訓練 29 富士見台小学校まち探検受入れ
10	ギャラリー企画「I chigo クラフト展」 7 やさしい写真教室 上半期特別ボーナス支給	11	ギャラリー企画「愛染てらにレビーズ展」 4 やさしい写真教室
12	ギャラリー企画「ミックスリーブス展」 2 やさしい写真教室 9 冬期ボーナス支給 29 冬季休業（～1月3日）	1	ギャラリー企画「あざみの会 切り絵展」 6 やさしい写真教室 30周年記念誌カフェ撮影
2	ギャラリー企画「しごと場大好き ねこまつり」 1 ねこまつり開催（～28日） 3 やさしい写真教室 14 メニュー価格値上げ 25 臨時休業（30周年記念パーティーの為）	3	ギャラリー企画「グループKuu!展」 3 やさしい写真教室 11 ジャングルバザー出店



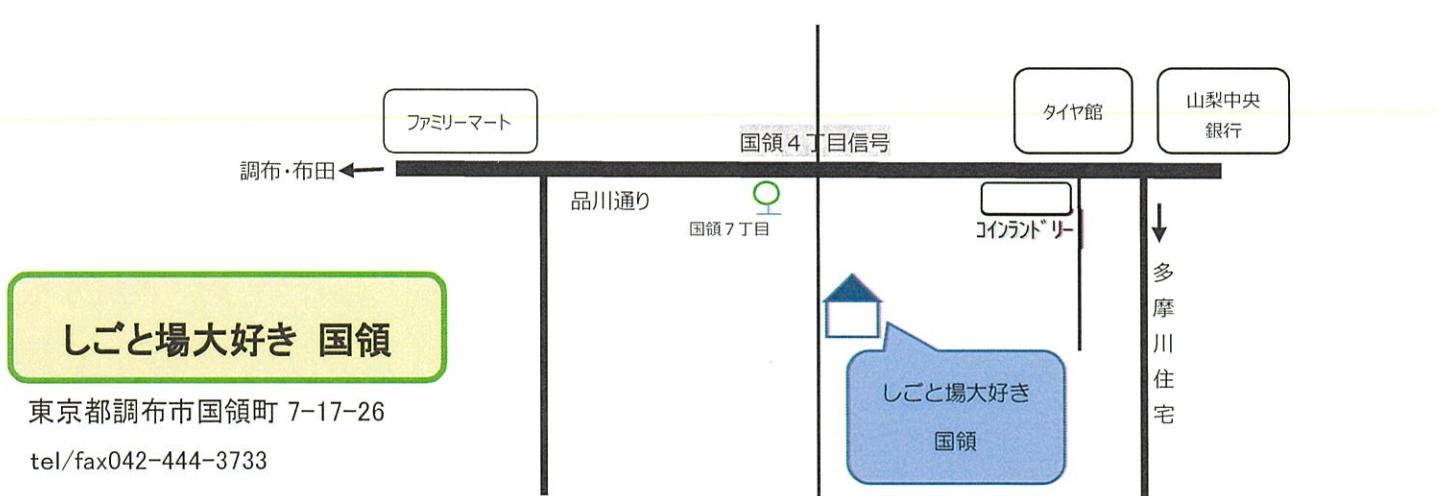
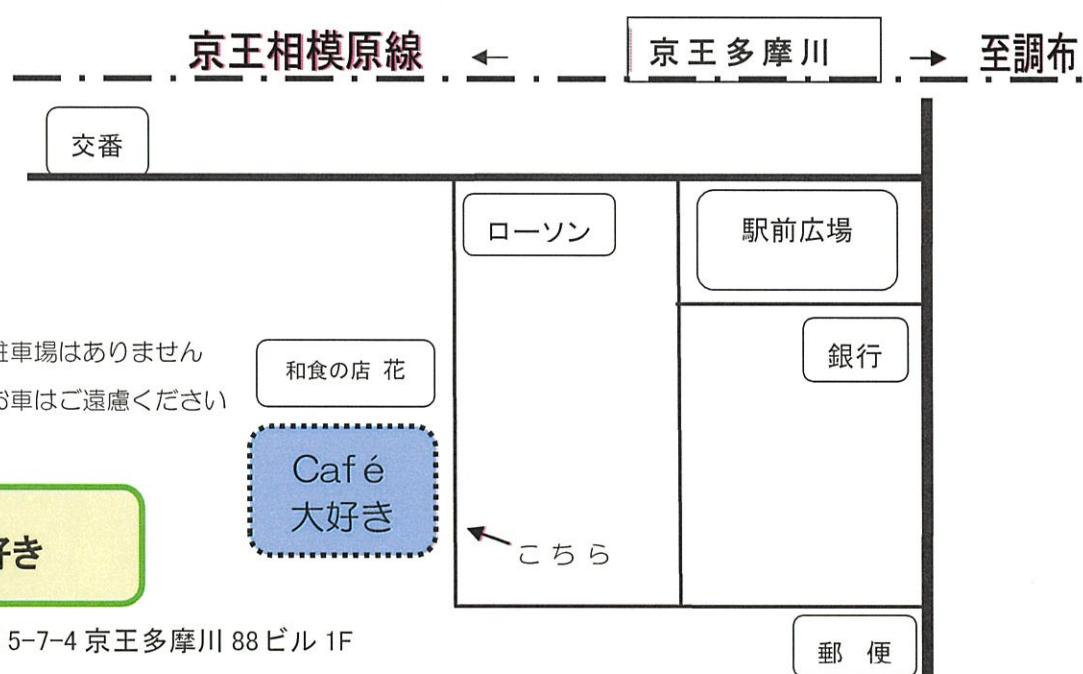
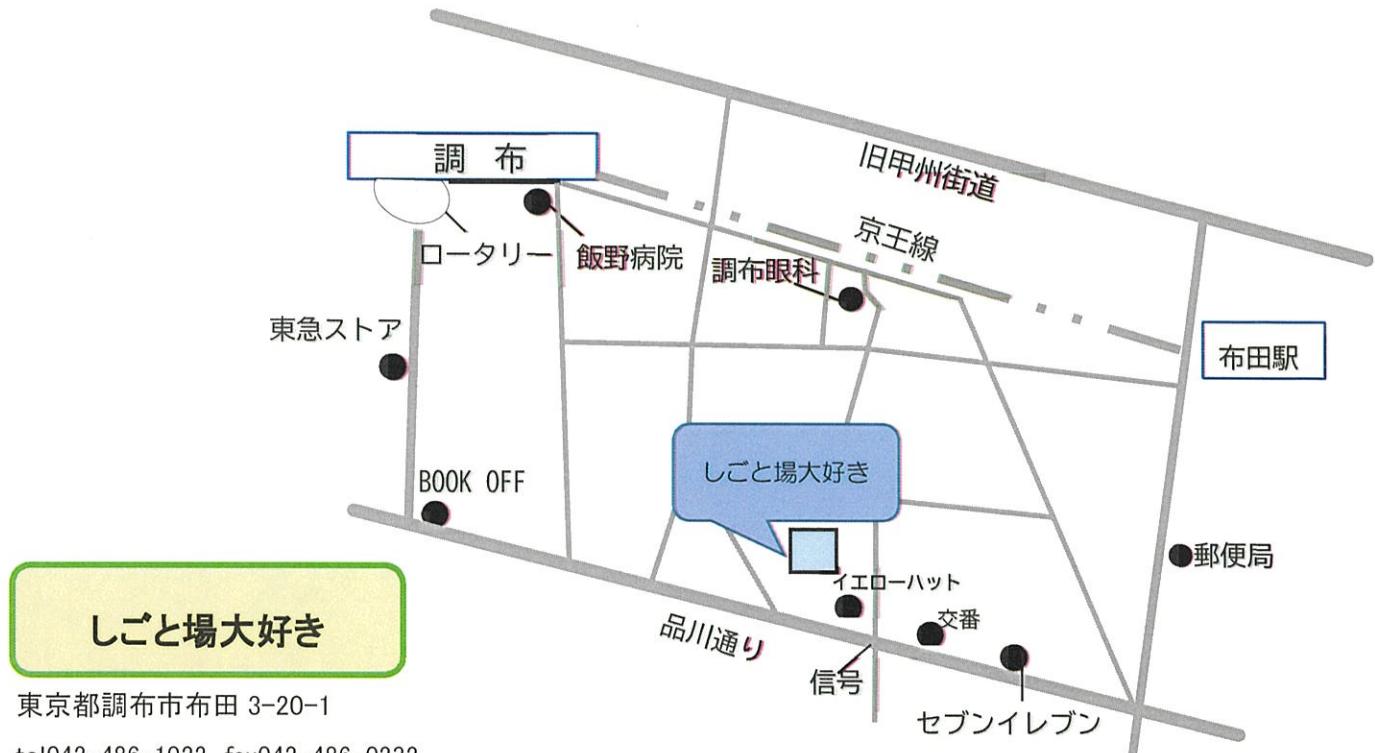
2023年度 役員体制

2023年8月現在

役職名	氏名	所属等
理事長	原 良男	保護司
理事	杉本 勝	上布田自治連合会第三自治会副会長
理事	増淵 貞夫	利用者保護者
理事	小山 嘉克	北浦自治会会长
理事	山口 祐二	民生児童委員
理事	山本 良子	保護司
理事	亀田 良一郎	「しごと場大好き」施設長
評議員	石井 和男	弁護士
評議員	深見 圭子	「しごと場大好き」組み紐講師
評議員	市村 研一	調布市社会福祉協議会職員
評議員	宮崎 豊和	市民有識者
評議員	莊司 信芳	布田西部自治会会計
評議員	普後 均	利用者保護者
評議員	清野 豊広	利用者保護者
評議員	岡 弥生	利用者保護者(こぶしの会)
評議員	菊池 美奈子	利用者保護者(こぶしの会)
監事	大村 洋	地域福祉関係者
監事	荒川 美由紀	金融機関勤務・利用者保護者

■事務局スタッフ

役職名	氏名	所属等
事務局長	内田 喜則	グループホームDAISUKI所長
事務局員	後藤 朋子	Café大好き 店長





2023年8月

社会福祉法人 調布を耕す会

住所 東京都調布市布田3-20-1

TEL 042(486)1022 FAX 042(486)0232

✉ tagayasukaijp@yahoo.co.jp

HP <http://www.tagayasukai.com>